

授業名	宗教学	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 必修/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 必修
担当教員名	◎福島 寅太郎		
開講期			
授業の概要	〔授業の目的・ねらい〕 ①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。 ②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。 〔授業の概要〕 本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。 宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。 本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。 本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。 授業時の質疑応答やレポートの返却等によってフィードバックを行う。 位置づけ・水準:GC1101		
授業の到達目標	〔到達目標〕 ①宗教学的“ものの見方”を理解する。 ②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。 ③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。 単位認定の最低基準は:は「内容の7割以上を理解していること」 DPとの関係: 個の確立、人間形成		
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	試験成績60点、授業における発表20％、授業における参加態度20％など。理解度8割で、合とする。
テキスト	特に指定していないが、途中から必要に応じて指定する場合がある。その場合は事前に詳細を知らせる。		
参考書	特になし		
学生への要望	ノートをこまめにとること。		
位置付け・水準			
ディプロマポリシーとの関係			
オフィスタイム			
アクティブラーニング実施内容			
実務家教員の経歴			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。	初回に当たり、とくになし。	1.5
2	生活と宗教（1）一禅の教えと歴史	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて、配布プリントを参考にしながら述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしながら、生活における禅の役割を考える。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
3	生活と宗教（2）一生活の中の「禅」	前回の続き。配布予定のプリントに沿って、禅とは何かを、身近な話題を通して考える。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
4	生活と宗教（3）一「生活禅」とは何か	「生活禅」とは何か。配布予定のプリントを通して学びながら、一緒に考えてみる。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
5	生活と宗教（4）一だるまさん・ダルマと達磨	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがあろう。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達摩さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
6	生活と宗教（5）一般若心経	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
7	生活と宗教（6）一こころと心	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にするものである。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
8	生活と宗教（7）一禅マンガについて	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
9	生活と宗教（8）一宗教における悩みの対処法	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、配布予定のプリントを参考にしながら理解する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	生活と宗教（９）－アニメにおける宗教的要素 其の一	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
11	生活と宗教（１０）－アニメにおける宗教的要素 其の二	前回の続き。ちなみに、トトロの性別はオスカ、それともメスカ。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
12	生活と宗教（１１）－生活と宗教との関わり 其の一	「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という言葉の意味を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
13	生活と宗教（１２）－生活と宗教との関わり 其の二	前回の続き。「人間らしく生きるためにはどうしたらいいか」「人間の本質とは何か」などの問題について、配布予定のプリントを参考にしつつ考えてみる。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
14	生活と宗教（１３）－まとめ	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5
15	最終回－まとめ其②	授業の内容を踏まえつつ、本学の建学精神である「尊敬・責任・自由」の意義を再び考えてみることにする。	ノートをしっかり読み返し、内容への理解に努めること。	1.5

授業名	哲学・倫理学	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎野口 周一			
開講期				
授業の概要	本講義の目的は、教育人間学の視点から人間とは何ぞや、あるいは人間の生き方・あり方とは何か、等々について事例を通して学び、自分で考えてみようという点にあります。講義の進め方としては、教育哲学者の松田高志氏の『いのち輝く子ら』を用い、「子どもとは何か」、「教育の本筋」、「学びの世界」、「学びへのサポート」、「子ども・大人・生涯の学び」、「出会い」のテーマによりつつ、エッセイを読み解いていきます。 課題に対するフィードバックは授業時に行う。			
授業の到達目標	1 各テーマの考えをまとめ、理解できること。 2 「子どもとは何か」というテーマを中心にすえながら、欲求や能力、よさや良心、弱さや悪、尊重や共感の意味、愛の意味、生命をめぐる問い、等々を理解できること。 3 教育とは「子どもを社会に適応させること」という狭い教育観を脱することが理解できること。 単位認定の最低基準は70％である。			
履修条件	特になし。	成績の 評価方法・基準	毎回、テキストを使いつつ、それぞれのテーマについて議論することを求める。その際の口頭発表と課題についての評価を80％、最終課題を20％と評価する。	
テキスト	松田高志『いのち輝く子ら』（NPO法人 くだけけ会）			
参考書	特になし。			
学生への要望	講義への主体的な参加を望みます。			
位置付け・水準	GC1102			
ディプロマポリシーとの関係	「個の確立」「人間形成」に資することを目的とするものの、例えば幼児教育学科であれば「教育・保育の本質を理解している」ことを重視する。			
オフィスタイム	火曜・水曜のお昼休み。教職課程推進室。			
アクティブラーニング実施内容	テキストを講読（指名して音読する）、問題点についてはその都度調べて、発表することを通常の授業で行う。			
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	講義ガイダンス 「子どもとは何か」の読み込み (1)	授業の進め方、グループ別討議について説明する。 神の最高の啓示、光の子、無邪気さの世界、について考えます。	予習・復習	90
2	同上 (2)	貝殻や石ころ、刺戟控え目、お古のスリッパ、について考えます。	予習・復習	90
3	同上 (3)	矛盾のまま、神聖な謎、について考えます。	予習・復習	90
4	「教育の本筋」の読み込み (1)	自然の恵み、笑顔と無邪気な没頭、について考えます。	予習・復習	90
5	同上 (2)	子どもの生きる場、親の醸し出す雰囲気、について考えます。	予習・復習	90
6	同上 (3)	学校の選択、平和の道、について考えます。	予習・復習	90
7	「学びの世界」の読み込み (1)	同じでないと、喜ばしき驚き、について考えます。	予習・復習	90
8	同上 (2)	胸ふくらませて、意・情・知、について考えます。	予習・復習	90
9	同上 (3)	幸せな知、心の眠、について考えます。	予習・復習	90
10	「学びへのサポート」の読み込み (1)	勇気づけ、期待と信頼、について考えます。	予習・復習	90
11	同上 (2)	余白のプレゼント、苦笑、について考えます。	予習・復習	90
12	同上 (3)	未完の神器、成長を信じ味わう、について考えます。	予習・復習	90
13	「子ども・大人・生涯の学び」 の読み込み (1)	いのちのシャワー、魅力ある人、について考えます。	予習・復習	90
14	同上 (2)	にもかかわらず、うぶの反対、について考えます。	予習・復習	90
15	同上 (3)	生涯の学び、について考えます。	予習・復習	90

授業名	文化史	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎仲田 佐和子			
開講期	Ⅱ			
授業の概要	学園創立の経緯を日本の歴史、特に郡山の歴史とともに考察し、建学の精神との関連を理解する。また、身近な文化財と文化施設を学び、生涯学習への活用を理解する。課題に対しては、レポートを添削・返却し、コメント等によるフィードバックを行います。 位置づけ・水準 GC1103			
授業の到達目標	①絵本の表現を理解し、多様性を受け入れられるようになる（人間形成）。 ②学園の歴史を理解し、建学の精神について自分なりの解釈を自分の言葉で語れるようになる（個の確立、人間形成）。 ③文化施設に関心を持ち、自身の生涯学習へ活かす意欲を持つ（個の確立、人間形成）。 単位認定の基準は、内容の8割を理解してほしい。			
履修条件	短期大学部1年生(健康栄養学科、幼児教育学科)	成績の 評価方法・基準	レポート3本（80点） 発表（20点） 60点以上で合格だが、80点以上を目指してほしい。	
テキスト	使用しない。適宜、資料として『学園史』『折々に』のコピーを配布します。			
参考書	『羽仁もと子選集 生活即教育』（婦人之友社）、『ライフシフト』（東洋経済新報社）ほか、適宜紹介します。			
学生への要望	博物館の特別展や近隣の文化施設を紹介するので、活用して積極的に学ぶこと。			
位置付け・水準	GC1103			
ディプロマポリシーとの関係	人間形成。個の確立。			
オフィスタイム	月曜日・Ⅳ時限、火曜日・Ⅱ時限。創学館4階No.4研究室			
アクティブラーニング実施内容	レポートの発表をパワーポイントを用いて行います。			
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション、絵本の「表現」 ☒	教師の自己紹介、文化史の定義、授業の進め方等を説明する。対象者を限定しない「絵本」の魅力について考える。	レポート作成の準備をする。	90
2	学園の歴史①	創立者・関口富左先生の生い立ちから学園創立の経緯を学ぶ。	「学園史」を読み理解する。	90
3	学園の歴史②	学園創立時を郡山の歴史と関連づけて学ぶ。	「学園史」を読み理解する。	90
4	学園の歴史③	学園の歴史と建学の精神の関係性を学ぶ。	「学園史」を読み理解する。	90
5	レポートの発表	「私のお気に入りの絵本」を発表する。	パワーポイントなど発表の準備をする。	180
6	文化財の保護と活用①	「世界遺産」について理解する。2019年の首里城焼失について解説する。	「世界遺産」の定義を理解する。	90
7	文化財の保護と活用②	文化財保護の体系を学ぶ。身近な文化財を探してみる。	身近な文化財をみつける。	90
8	文化財の保護と活用③	「登録有形文化財」について学ぶ。登録制度が始まった経緯と緩やかな保護措置と活用の関係を理解する。	身近な「登録有形文化財」を調べる。	90
9	文化財の保護と活用④	「日本遺産」について学ぶ。「日本遺産」の方向性と認定による効果を考える。	様々な「日本遺産」について調べる。	90
10	文化財の保護と活用⑤	「日本遺産」に認定された「未来を拓いた一本の水路」について、具体的に学ぶ。	身近なところに「未来を拓いた一本の水路」のストーリーがないか調べる。	90
11	文化施設について学ぶ①	「正倉院」について学び、1000年以上にわたって宝物が収蔵されてきた経緯を理解する。	正倉院宝物について調べる。	90
12	文化施設について学ぶ②	2019年に郡山市立美術館で開催された「クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物」を紹介し、正倉院宝物が彼のデザインに影響を与えたことを理解する。	クリストファー・ドレッサーのデザインに影響を与えた正倉院宝物を調べる。	90
13	文化施設について学ぶ③	クリストファー・ドレッサーのデザインにも見られる「江戸文様」について学び、身近なところにある「江戸文様」について理解する。身近に見つけた江戸模様を発表する。	身近な「江戸文様」を調べる。	90
14	100年時代の生涯学習①	長寿社会となり100年人生を生きていることを考え、生涯学び続ける意義を理解する。	配布した資料を読み、理解を深める。	90
15	100年時代の生涯学習②	様々な学び方と働き方について理解を深め、自分自身の将来を展望する。	自分自身の100年人生を考える。	180

授業名	日本国憲法	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎鈴木 康元			
開講期				
授業の概要	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。 実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務。			
授業の到達目標	憲法の基本理念と人権の重要性について理解してもらいたい。 履修カルテ評価項目 ①近代的意味の憲法の意義、歴史的背景が理解できたか。 ②日本国憲法の成立における問題点が理解できたか。 ③人権の重要性と制限根拠について理解できたか。			
履修条件	健康栄養学科 1 年生、幼児教育学科 1 年生	成績の 評価方法・基準	ペーパー試験(80%)と出席状況(20%)	
テキスト	憲法【第二版】 弘文堂			
参考書	特に指定しない			
学生への要望	憲法および法律一般につき興味をもって欲しい。			
位置付け・水準	GC1104			
ディプロマポリシーとの関係				
オフィスタイム	金曜日Ⅲ～Ⅴ時限 授業前後 教務部 非常勤講師控室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴	実務経験：弁護士として、法律事務所長として勤務する経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：弁護士として、法律事務所長として勤務			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	憲法総論①	憲法を学ぶことの意義、重要性、近代的意味の憲法について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	30
2	憲法総論②	近代的意味の憲法の特徴、日本国憲法の歴史	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	憲法総論③	国民主権の意義、平和主義（憲法9条の解釈）について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	基本的人権①	人権の概念、およびその重要性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	基本的人権②	日本国憲法の人権の内容、人権の享有主体について☒	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	基本的人権③	人権の限界、私人間における人権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	基本的人権④	包括的基本権（特にプライバシーの権利を中心に）法の下 の平等の意義	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	基本的人権⑤	内心の自由（特に信教の自由を中心に）につき判例をあげ ながら教える	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	基本的人権⑥	表現の自由の意義とその優越性について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	基本的人権⑦	経済的自由権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	基本的人権⑧	財産権	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	基本的人権⑨	その他の人権について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	統治機構①	国会	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	統治機構②	内閣	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
15	統治機構③	裁判所	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

授業名	社会科学（政治）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎長谷川 貴弘			
開講期	I 期			
授業の概要	政治とは、決して私達の生活からかけ離れた存在ではなく、私達の社会、生活と密接に関わっている。また、私達の生活上の意識が今日の政治に反映されているともいえる。本講義では、様々なテーマを通して、生活と政治との密接な関わりについて理解し考察できる能力を養うことを目標とする。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	教養として政治学を学修することを通じて、私達の生活と政治が如何に密接につながっているか、理解し考察できる能力を養うことを目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	健康栄養学科 1年生 幼児教育学科 1年生	成績の 評価方法・基準	定期試験80点、小テスト20点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	成蹊大学法学部編『教養としての政治学入門』ちくま新書他			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる政治及び社会の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GC1105			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	火曜日 2コマ目 木曜日 5コマ目 食品経営学研究室			
アクティブラーニング実施内容	特になし			
実務家教員の経歴	特になし			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	政治とは。政治思想の歴史について①	政治とは何かについて、また古代ギリシアの政治思想、近代黎明期の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	政治思想の歴史について②	社会契約論と市民革命期以降の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	政治思想の歴史について③	保守主義、ユートピア思想と社会主義、日本の政治思想について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	政治と政治制度①	権力分立制（三権分立論等）及び大統領制と議院内閣制について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	政治と政治制度②～各国の政治制度	各国（アメリカ、イギリス、ドイツ他）の政治制度について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	政治思想の歴史及び政治と政治制度について～まとめ	政治思想の歴史と政治と政治制度について、これまでの学修内容を振り返る。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	政治と議会制度	議会主義の起源と発達、現代社会と議会主義の危機、議会制度（一院制と二院制）について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
8	政治と選挙制度①	選挙の原則、選挙の機能、選挙制度の種類、ドント式による議席配分について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	政治と選挙制度②	小選挙区制と比例代表制との比較、各国の大統領選挙制度について学修する。小テスト実施予定。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60
10	政治と選挙制度③	各国の上院議員選挙について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	政治と選挙制度④～まとめ	日本の選挙制度について学修し、これまでの学修内容を振り返る。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	政治と政党①	政党の起源、大衆政党について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
13	政治と政党②	政党の類型・分類、各国の政党の特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
14	政治と圧力団体	圧力団体とは何か、その分類、機能、活動について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60
15	政治的無関心とその理論	政治的無関心の歴史とその理論について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてこれまでの学修内容を踏まえ、自身の考察をまとめて定期試験に備えること。	60

授業名	社会科学（経済）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎安田 純子			
開講期				
授業の概要	本授業の目的は、生活と密接にかかわる経済の基礎知識の習得と経済学的視点の確立である。不景気・デフレーション・円高・円安・インフレーション・消費生活・生活経済等、普段からニュースや新聞で取り上げられるものであるが、これらの経済的事象は私達の生活と密接にかかわっている。これら経済的事象を経済学的視点で見る目を養うことを本授業の目的としたい。 【課題（小テスト）に対するフィードバックの方法について】 小テスト採点后、特に誤りが多かった部分についてその後の授業で解説を行う。			
授業の到達目標	【単位認定の最低基準】 経済的事象を経済的視点で見る目を養うことを到達目標とする。この目標の7割程度の達成をもって単位認定の最低基準とする。			
履修条件	短期大学部 健康栄養学科、幼児教育学科 1年生	成績の 評価方法・基準	①小テスト30点（15点×2回） ②課題（レポート）70点	
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	伊藤元重「はじめての経済学（上）（下）」日経文庫、他必要に応じ授業の中で紹介する。			
学生への要望	普段からニュースや新聞で取り上げられる経済関連の問題について関心を持つようにすること。			
位置付け・水準	GC1106			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	月曜日13:00～16:30 金曜日13:00～16:00 場所は、創学館4F No.1研究室			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・経済学とは何か①	授業の進め方、評価方法について解説する。 経済学とは何かを説明する第一の例としてインフレーションとデフレーションを取り上げ、両者が私達の生活に与える影響について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
2	経済学とは何か②	第二の例として円安と円高を取り上げ、両者が私達の生活にどのような影響を与えるのかについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
3	経済学とは何か③	経済学をめぐる行われてきた政策論争（自由貿易vs保護貿易）について学修することを通じて経済学への理解を深める。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
4	消費生活と経済①	消費と消費者の概念について、消費者の権利と責任について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
5	消費生活と経済②	様々な消費者問題とクーリングオフについて学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
6	消費生活と経済③	グリーンコンシューマーとフェアトレードの概念について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
7	消費生活と経済④	消費生活と経済について総まとめ。 小テスト1回目	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	30
8	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査①	世界と日本の家計研究の歴史について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
9	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査②	エンゲルの法則とエンゲル係数の概念について学修する。	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習しておくこと。	30
10	生活と経済－エンゲルの法則と家計調査③	近年のエンゲル係数の動向について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
11	食料・食品と経済①	食料自給率、食と流通等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。	30
12	食料・食品と経済②	食と環境、食品廃棄物問題等について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
13	地域経済～郡山市の経済について①	地域経済とは何かを解説した上で、私達が住んでいる郡山市の経済とその特徴について学修する。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
14	地域経済～郡山市の経済について②	郡山市の経済とその特徴について学修する（前回の続き）。	配布したプリントの内容を読んでおくこと。併せてレポートを作成すること。	30
15	まとめ	これまでの学修内容を確認する。 小テスト（2回目）	これまでの学修内容をノート・プリントを通じて復習し、小テストに備えること。	60

授業名	自然科学（物理）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	本講義では物理学における基本的な概念を把握し説明できるようになることを目指す。そのために物理学において最も基本的な分野である力学を学ぶ。学んだ力学をもとに生物の物理学および音の物理学を学び、他分野における物理学の役割を理解する。 フィードバックとしてリフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却・課題内容の説明等を行う。			
授業の到達目標	本講義では物理学における基礎概念の理解および物理学の役割の理解のために、(1)物理学の考え方を理解し基本的な物理法則を説明できること、(2)エネルギーなどの諸概念を理解し現象と結び付けられること、を目標とする。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	とくに定めない。	成績の 評価方法・基準	課題(理解度の確認)2回・リフレクションペーパーの提出による。配点割合は課題が各40%、リフレクションペーパーの提出を20%とする。なお課題は得点分布などを加味し、平均点などの調整を行うことがある。	
テキスト	適宜プリントを配布する。			
参考書	とくに定めない。			
学生への要望	日常の現象に対して、なぜその現象が起こったのか自ら考えてみること。			
位置付け・水準	GC1107			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月3限、火3限、木曜1・2限（芸術館2階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。☑			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	本授業の目標を示し、内容を概説する。また評価方法や教科書等などについても述べる。また本授業で要求する基礎能力について説明する。本時では、本講義で必要となる基礎定数・文字式の扱いについて学習する。	本時の復習として、文字式の基本的な扱いを確認すること。	20
2	指数・単位・次元	指数を用いた表現方法について学習する。一般に物理量は単位を有することを知り、具体的な単位に m, cm, kg, g, sec などがあること、また速さなどの単位は、これらの単位の組み合わせとなっていることを理解する。この一般化として、日常の単位は長さ・質量・時間の三つの量の組み合わせで作られることを理解し、次元の概念を学ぶ。	本時の復習として、指数法則・負の整数乗・分数乗について確認すること。また次元解析とはどのような解析方法であるか具体例で確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	60
3	力と運動：ニュートンの3法則	運動の法則について学ぶ。速度と運動状態の関係に着目し、速度の変化には力が関わっていること、質量とは速度変化のしにくさであることを学ぶ。また物体間に働く力の関係として作用と反作用の関係を学び、日常現象から天体現象まで、同一の法則に支配されていることを認識する。	本時の復習として、ニュートンの三法則の内容を確認し、整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	90
4	保存則	保存則に着目すると現象の理解が容易となる。保存則と関係するエネルギー・運動量・角運動量を導入し、相互作用の前後でこれらの物理量が保存されることを学ぶ。さらにエネルギー問題・交通事故と速度の関係・自転車の運動などを保存則の観点から理解する。	本時の復習として、エネルギー等の物理量の定義とその意味、保存則の種類を確認すること。また日常の現象と保存則の関係を整理すること。	90
5	保存則とエネルギー伝達	空間の次元とエネルギーの伝わり方について実験を通して学習する。音は波であって、音の大きさは波の振幅と関係することを学ぶ。音の広がり方に着目し、エネルギー保存の観点から音の弱くなり方について理解する。また音との類推から放射線の強度についても放射線源からの距離により放射線強度が弱まることを理解する。（平面に分布している場合はどこでも同じになることについても触れる）	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、エネルギー保存則と空間の関係を整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
6	圧力	圧力の意味を理解し、日常での扱われ方について学ぶ。力は運動を定める基本的な要素であるが、日常では多数の粒子が関与するため力で扱うと不便ことがある。実際の現象では平均化された力である圧力を用いる方が適切な場合がある。ここでは圧力の計算方法を理解し、大気圧の大きさ、大気圧の生み出す現象(風)、圧力差の利用(サイフォン)などにより圧力と現象との関係を説明できるように学ぶ。より理解を深めるために、授業では体重による圧力に関する簡易実験を行い、圧力と力の違いの理解をはかる。	本時の復習として、圧力の定義を確認すること。また圧力の単位の関係を整理すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	生物の物理学：生物の大きさ	あらゆる現象は物理法則に支配されており生物も例外ではない。これまでに学習した空間の次元やエネルギーの観点から、暑さの感じ方の違いや巨大な生物の存在の有無を理解できることを学ぶ。具体的に人間などの大きさや体重度などを参考にし、空想上の生物が存在しうかについて次元解析を用いて考察する。	本時の予習として、次元解析の内容を確認しておくこと。本時の復習として、自分自身の身体において高さ（身長）・横幅・前後の厚みを2倍にした場合の体重を計算してみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	45
8	生物の物理学：ダイエットの物理学	ダイエットをエネルギーの視点から考えなおすことで、ダイエットにどのような物理的制約があるのか理解する。ダイエットで用いられるエネルギーの単位であるカロリーと物理的に定義されたジュールの関係を理解し、エネルギー保存則を加味した場合にダイエットすることの物理的な意味を考える。また運動している物体の有するエネルギーなどと食品などのエネルギーを比較することで、運動によるエネルギー消費の程度を検討する。	本時の予習として、エネルギー保存則の内容を確認しておくこと。本時の復習として、再度、運動や食品のエネルギーの値を比較してみること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
9	課題1	学習してきた内容の理解度をチェックする。力や圧力といった概念やエネルギー保存則などを理解できているか確認する。また次元解析などを用いた質量や密度などの簡単な評価をすることができるか確認をする。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120
10	地球の諸性質	地球に関する大きさ・質量と構造を学ぶ。また地球の大きさを二地点間の距離から推定する方法を理解し、実際の数値データから算出してみることにする。	本時の予習として、地球の半径・周の長さを調べてみることに。本時の復習として、円周の計算方法を確認すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
11	音の物理学：波の性質1	音とは空気の疎密波であることから、波の物理的性質について学ぶ。波の有するは振幅(波高)・波速・波長およびこれらと関係付けられる周波数(振動数)を理解する。また波の特徴的な性質である、縦波と横波・回折・干渉(重ね合わせの原理を含む)・反射・屈折について理解し、なぜ直接見えない音源の音が聞き取ることができるのか説明できるように学ぶことにする。	本時の復習として、波の物理的特徴を全て整理すること。また波の性質も列挙すること。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	20
12	音の物理学：波の性質2	波の性質である「重ね合わせの原理」とは何か復習し、数学上はあらゆる波が正弦波の重ね合わせとして表現できる(フーリエ展開)ことを学ぶ。また固定端と自由端での波の挙動について理解する。波の重ね合わせの結果として定在波と呼ばれる波が生じることを学び、定在波の映像や音による定在波の実験を通じ、定在波について理解を深める。	本時の復習として、日常現象における定在波(定常波)の例を調べてみることに。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
13	音の物理学：声と音	人間の音に対する認識である、音量(音の大きさ)・音程(音の高低)・音色と物理的な性質との対応を学ぶ。音の大きさは波のエネルギーと関係していること、音の高低は周波数と関係していることを理解する。また音色は音の物理的な特性とは関係がなく、波の形状によって定まることを学ぶ。具体的に理解するため、受講生の声を録音し、受講生の声の波形やスペクトルを観察する。	本時の復習として、音量・音程・音色と波の諸量との対応をまとめることに。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
14	共振・共鳴(力学)	共振・共鳴は、効率的にエネルギー伝達が起こる現象である。このため振動現象の中でも大きな事故を引き起こしうる。共振・共鳴とはどのような現象かを理解し、破壊的な現象が起きうることを理解する(タコマ橋の崩壊・地震と長周期振動)。	本時の復習として、講義内で示した以外の共振現象を調べてみることに。 ※リフレクションペーパーの返却があった場合は内容を確認すること。	30
15	課題2	音に関する諸事項や共振・共鳴について理解できているか確認する。波の物理的性質・音色と音の性質と関係などを理解できているか確認する。また共振・共鳴とは何かといったことや、共振・共鳴に関係する現象を把握しているか確認する。これらの事項の理解度に応じ追加の説明をする。	本時の予習として、これまでの内容を整理すること。本時の復習として、課題実施後に説明した内容について再確認すること。	120

授業名	自然科学（化学）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎源川 博久			
開講期				
授業の概要	[授業の目的・ねらい] 栄養士やフードスペシャリストに必要な化学の知識の基礎を習得する。 [授業全体の内容の概要] この授業は、主に短期大学部健康栄養学科の学生を対象に卒業必修科目として開講する。栄養士とフードスペシャリストを目指す学生にとっての重要な基礎となる化学について講義する。高校で化学を履修していない学生のため、元素の種類・周期表・元素記号、化学結合、分子と化学式など化学の基礎的な内容(高校の基礎化学)を含めて講義する。さらに有機化学について専門科目の栄養学、食品学、生化学などを理解するために必要な内容を扱う。 [課題に対するフィードバック] 授業中に解説して、フィードバックする。			
授業の到達目標	[授業終了時の達成課題] 生体や食品に含まれる化学物質について、化学構造に基いて物質量、性質、特徴や役割を理解する。 [単位認定の最低基準] 授業内容の概ね8割以上を理解するよう求める。			
履修条件	特になし。	成績の 評価方法・基準	課題(26%)と定期試験(74%)の成績を総合的に評価する。	
テキスト	白戸亮吉ら、生理学・生化学につながる ていねいな化学、羊土社			
参考書	高校の化学基礎、化学の教科書や参考書			
学生への要望	授業をよく聞き、説明やポイントをノートに取ること。授業では例題や練習問題をおこなうため、予習でこれらを自ら解いてみること。特に、課題は評価に大きく影響するため、必ず提出期限を守ること。化学を苦手とする学生は、予習復習をして理解を深めてほしい。			
位置付け・水準	GC1108			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調、人間形成			
オフィスタイム	月・火曜日 12:10～12:40 栄養化学研究室			
アクティブラーニング実施内容	なし			
実務家教員の経歴	なし			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	物質と原子	原子の構造、質量数と同位体、電子殻について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
2	元素の周期律と周期表	最外殻電子の配置によって生じる原子の周期律と周期表について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
3	イオン	原子の最外殻電子の配置とイオンの形成について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
4	化学結合	イオン結合、共有結合、分子間力について、説明する。また、共有結合による分子の形成と極性分子・無極性分子について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
5	原子量と物質質量	原子量、分子量、式量について説明する。さらに、アボガド口数と物質質量について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
6	化学反応式	化学反応式の書き方と化学反応式が表す意味を説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
7	酸と塩基	酸・塩基の定義(アレニウスの酸・塩基、ブレンステッド・ローリーの酸・塩基)、酸・塩基の強弱について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
8	水素イオン濃度と水素イオン指数(pH)	水素イオン濃度と水素イオン指数(pH)、中和反応について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
9	有機化合物	有機化合物の代表的化合物の構造、分類、性質について説明する。また、炭化水素の種類と構造について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
10	官能基と異性体	有機化合物の官能基と異性体について、構造、分類、性質について説明する。また、代表的な化合物について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
11	炭水化物	炭水化物として、単糖類、二糖類、多糖類の構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
12	脂質	脂質として、中性脂肪、リン脂質、コレステロールの構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
13	アミノ酸	アミノ酸の構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
14	たんぱく質	タンパク質の構造、分類、性質について説明する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
15	まとめ	これまでの授業内容をまとめ、問題演習を行う。	資料、教科書、ノートで復習する。	60

授業名	自然科学（生物）	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 必修	
担当教員名	◎源川 博久			
開講期				
授業の概要	[授業の目的・ねらい] 栄養士やフードスペシャリストに必要な生物学の知識の基礎として、「生物とは何か」「生物の生命現象」について理解する。 [授業全体の内容の概要] この授業は、短期大学部健康栄養学科の卒業必修科目として開講するため、栄養士とフードスペシャリストを目指す学生に必要なとなる生物学の基礎および高校で生物基礎を苦手とする学生の上として授業を進める。主な内容は、生物の定義、真核細胞の構造と機能、遺伝、消化吸収、代謝、生体防御（免疫）、情報伝達などである。 [課題に対するフィードバック] 授業中に解説して、フィードバックする。			
授業の到達目標	[授業終了時の達成課題] 生物の定義を理解する。さらに、ヒトの生体を構成する細胞の構造と機能、ヒト生体内の生命現象（遺伝、消化吸収、代謝、生体防御（免疫）、情報伝達など）について理解し、「ヒトの生物学」についての基礎知識を身につける。 [単位認定の最低基準] 単位認定は6割いじょうであるが、授業内容の概ね8割以上を理解するように求める。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	課題(26%)と定期試験(74%)の成績を総合的に評価する。	
テキスト	白戸亮吉ら、生理学・生化学につながる ていねいな生物学、羊土社			
参考書	高校の化学基礎、化学の教科書や参考書			
学生への要望	授業をよく聞き、説明やポイントをノートに取ること。授業の例題は予習で自ら解いてみることに。特に、課題は評価に大きく影響するため、必ず提出期限を守ること。生物学を苦手とする学生は授業内容のキーワードを教科書などで調べるなど、予習復習をして理解を深めてほしい。			
位置付け・水準	GC1109			
ディプロマポリシーとの関係	他との協調・人間形成			
オフィスタイム	月・火曜日 12:10～12:40 栄養化学研究室			
アクティブラーニング実施内容	なし			
実務家教員の経歴	なし			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	生物の分類	生物の定義を確認し、生物の概念を理解する。また、生物の分類を学ぶことで、生物の共通性と多様性を理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
2	細胞の構造と機能	生物を構成する最小の単位である細胞について学ぶ。生物の定義の1つである細胞膜について、構造や機能について理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
3	細胞の構造と機能	生物を構成する最小の単位である細胞について学ぶ。細胞膜以外の細胞内小器官の構造と機能について理解する。また、遺伝の基礎として、核酸について学ぶ。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
4	セントラルドグマ（タンパク質合成）	セントラルドグマのタンパク質合成について、核酸の機能、転写と翻訳、タンパク質の修飾と分泌などについて学ぶ。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
5	セントラルドグマ（半保存的複製）と分化	セントラルドグマの半保存的複製について学ぶ。また、細胞周期や染色体、突然変異など核酸について理解を深める。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
6	消化吸収	従属栄養生物が摂取する栄養素と消化吸収機構について学ぶ。また、消化に重要な酵素について理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
7	消化吸収	ヒトにおける三大栄養素（糖質、脂質、タンパク質）の消化吸収機構と体内動態について学ぶ。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
8	代謝	代謝とは何かについて学ぶ。また、生物の定義としての代謝はエネルギーを作り出すことであるため、生物の主なエネルギーであるATPについて学ぶ。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
9	代謝	主要エネルギー代謝経路（解糖系、クエン酸回路、電子伝達系）について学ぶ。また、脂質やたんぱく質とエネルギー代謝の関係について理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
10	血液	血液成分や機能について学ぶ。また、生命活動における血液の重要性を理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
11	生体防御（免疫）	免疫系の観点から、生体防御について学ぶ。免疫系の分類、異物防御機構について理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
12	体液調整と尿生成	生体内の水の分布について、細胞内液と細胞外液の相違について学ぶ。また、酸塩基平衡についても理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	体液調整と尿生成	腎臓の機能について学ぶ。体液調整や尿の生成について理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
14	神経系	生体内の情報伝達に関わる器官である神経系について学ぶ。神経細胞の構造、神経系の分類と機能について理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60
15	ホルモン	神経系への情報（刺激）となるホルモンについて学ぶ。ホルモンの分類、分泌場所と作用場所、機能について理解する。	資料と教科書で予習し、資料、教科書、ノートで復習する。	60

授業名	数理・データサイエンス基礎	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	この講義では、数理・データサイエンス・Artificial Intelligence (AI) の社会に与える影響・データを扱う上での注意事項・データを扱うための表現・データから情報を抽出する方法を学ぶことを目的とする。従来より様々なデータを処理し、情報を抽出することは重要な作業とされていた。今日では、コンピュータの発達やインターネット等の情報網の発達により大量のデータが得られるようになったことやAIに代表される情報処理技術の進展により、いかにデータから情報を抽出するかということがこれまで以上に重要となった。これらの情報抽出は統計学を含む数的な扱いに基礎をおり、昨今の数理データサイエンスを学ぶうえで数理的な扱いを含むデータ処理を理解しておくことが必須である。以上を踏まえ、本講義では、数理・データサイエンス・AIに基づく社会の変化、大量のデータを扱う場合の留意点、データを扱うための基礎的な数理表現、データから情報を抽出する基本的な方法を学ぶ。 フィードバックとして、リフレクションペーパー（理解度確認ペーパー）の返却や中間課題の説明等を行う。			
授業の到達目標	社会におけるデータ活用の基本的な知識を習得し、データを扱い情報を抽出する基本的な方法を理解する。具体的な目標は、 1. 社会におけるデータやAI活用およびその留意事項等について説明できること 2. データを扱うために必要な数な扱い（冪・関数・行列・集合）ができるようになること 3. データの記述とデータからの情報抽出（検定・回帰）ができるようになること である。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	リフレクションペーパー・中間演習の結果・レポート課題による。成績評価への割合は、リフレクションペーパーの提出を20%、中間演習とレポート課題の割合をそれぞれ40%とする。	
テキスト	テキストを PDF として Web 上で配信する。			
参考書	前野 昌弘, 三國 彰, "統計解析", 日本実業出版社 (2000); 涌井 良幸, 涌井 貞美, "多変量解析", 日本実業出版社 (2001)			
学生への要望	事前に資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。			
位置付け・水準	GC1110			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月 3 限、火 3 限、木曜 1・2 限（芸術館 2 階 地域創成学科研究室No3）			
アクティブラーニング実施内容	特になし。			
実務家教員の経歴	岡崎信用金庫と株式会社F-Powerで、リスク管理や経営企画担当者として数理的情報処理・統計的分析の実務経験をもつ教員が担当します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の構成と数理・データサイエンス・AIによる社会の変化と動向	本講義で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。近年は大量のデータを取得し取り扱えるようになったことにより、データサイエンス・AIと呼ばれる分野が盛んになった。本時では、数理・データサイエンス・AIによって社会にどのような変化が生じているか、また今後はどのような方向に向かうと考えられるか概説する。	復習として、これまでの社会変化がどのようなものであったか整理してみること。	30
2	利活用されているデータ・利用領域・利用技術・利活用の現場	社会では様々な種類のデータが活用されている。本時ではデータやAIの活用領域、利用するための技術、利活用例などについて学ぶことにする。また、生成AIの実際についても触れる。	政府統計ポータルにアクセスし、少なくとも三つのデータもしくはグラフを確認すること。	30
3	データサイエンスと情報の保護	データサイエンスやAIの知識や技術を利用すると、様々な大量のデータを結合し、特徴を抽出することが可能となる。このことは利便性を生む反面、個人の行動・趣味などの秘匿すべき情報も分析できることを意味する。本時では、データを扱う上での留意事項を学ぶこととする。	Ethical, Legal and Social Implications (ELSI) について調べてみること。 Society4.0とSociety5.0の違いを比較し整理してみること。	60
4	巾の演算	積の概念を発展させたものに冪がある。概念的には積と商で理解できるが、冪の演算に習熟すると様々な場面で計算が簡略化される。本時では冪とその演算規則について学ぶ。	復習として冪に関する演算規則を確認すること。また冪を用いた数値の表現について確認すること。	30
5	一次関数	一次関数は連続量を扱う数学では基本的な関数である。微分とも関連し応用範囲は広い。本時では一次関数とグラフの関係や回帰式などについて触れる。	復習として、一次関数の各係数の意味、グラフとの関係を再確認しておくこと。	45
6	ベクトルと行列	複数の数値はひとまとめにしてベクトルとすると扱いやすくなる。本時では、データを扱う際に必要となるベクトルとベクトルに作用する行列について学ぶ。	2行2列の行列を作成し、行列の積が非可換であることを確認すること。また逆行列が存在しない行列を具体的に構成してみること。	45

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	集合	数学の基礎の一つに集合がある。本時では部分集合や集合の積・和・差などの概念を導入する。また集合演算の基礎であるド・モルガンの法則やその応用方法を学ぶ。	復習として、集合の基本概念（空集合など）および集合間の演算について確認すること。	60
8	課題	これまで学修した内容に対する課題を提示する。本課題を通じ、これまでの学修内容を確実なものにする。また本時では本課題の説明も行う。	復習として、提示した課題を再度行ってみること。このことにより、理解が不足している部分を確認すること。	120
9	データとその記述	データには様々な種類がある。ここでは統計を適用する上で認識しておくべきデータの種類、基本的な統計量を学ぶ。実際に受講生自身で基本統計量を算出することとする。	復習として、データの種類毎に実例を探し、みる。また平均や分散などの特徴を再確認すること。	90
10	相関	二つの事柄に関係があるとき相関があるという。この相関を統計学的に見出す手法について学ぶ。また実際に受講生がデータから相関を算出することとする。	復習として、相関係数の定義を確認すること。また相関関数の値をみることで、あらゆる相関が判断できるわけではないことを確認すること。	45
11	検定の基礎	ある仮説が正しいか否かを統計的に調べる方法を検定という。本時では検定の基本的な考え方を学ぶ。検定を行うための前提条件である正規性や検定を行う過程で用いられる帰無仮説・優位水準・p値などの概念を学ぶ。また検定における過誤についても学ぶ。	検定で用いられる、正規性・帰無仮説・優位水準・p値などの用語を整理すること。	60
12	パラメトリック検定	検定する対象により様々な検定方法があるが、本時ではパラメトリックな平均値の検定を学び、受講生自身により平均値の検定を試みる。またパラメトリックな検定が利用できない場合に用いるノンパラメトリック検定について、その概略を学ぶ。	復習として、複数のデータで平均値の検定を行ってみること。	90
13	適合度の検定と独立性の検定	検定には、測定値が理論値と合致するか否かを判断するための適合度の検定や、二つの要素に関連性があるか否かを判断するための独立性の検定がある。本時ではこれらの検定の考え方を学ぶ。また簡単な例を通して、これらの検定を受講生自らが検定結果を確認することとする。	復習として、講義内で示した例において、数値を変えて適合度の検定や独立性の検定を行ってみること。	60
14	回帰分析による実データの分析	ある変数(目的変数)と他の変数(説明変数)からなる回帰式と呼ばれる式により分析することを回帰分析という。本時では回帰の基本的な考え方および線形回帰と非線形回帰の違いを学ぶ。その後、国・地方公共団体・産業界等によって収集された実データを分析する。分析するための処理を行い、その後、線形回帰によりデータを分析をする。一連の過程を受講生自身が行うことにより、回帰分析および実際の分析過程を学ぶことにする。	復習として、回帰の基本的な考え方を確認すること。また実際に回帰直線を求め、回帰直線の決定の仕方により、目的変数と説明変数の間に非対称が生じうることを確認すること。	90
15	まとめ	本科目の総まとめをする。どのような統計手法がどのような目的で使われたのか整理する。また総まとめとなるレポート課題を提示する。	授業内容に則し、課題を実施しレポートとしてまとめること。	300

授業名	言葉と表現	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎渡部 東一郎			
開講期				
授業の概要	教科書に沿いながら、日本語表現力の基礎となる知識や日本語を「読み」「書き」「話す」上でのポイントを学び、幾つかの文書・文章については実際に作成の上、課題として提出してもらう。また、毎回授業冒頭に「語彙のトレーニング」として小テストを実施する（範囲はあらかじめ指定する）。 なお、提出してもらった課題は、添削の上、次回以降の授業時に返却する。			
授業の到達目標	①短大生として相応しい日本語表現力・語彙力を身に付ける。 ②スピーチや各種の文書作成時に不可欠なポイントを踏まえ、場面や場合に合った表現ができる。 単位認定の最低基準は、内容の8割を理解していること。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	提出課題3回の成績（60％）、授業時の取り組み姿勢（40％）	
テキスト	米田明美・蔵中さやか・山上登志美〔著〕 『大学生のための日本語表現実践ノート改訂版』（風間書房 1,100円）			
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。			
学生への要望	提出課題を書く際に用いる400字詰め原稿用紙（横書き・A4版が望ましい）を事前に準備しておくこと。			
位置付け・水準	GC1111			
ディプロマポリシーとの関係	健康栄養学科：4), 5) 幼児教育学科：幅広い教養を身につけ他者とのかかわる力を身につけている。			
オフィスタイム				
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	授業の目標と流れについて説明する。	授業の目標と流れについて確認する。	30
2	日本語表現の基礎（1）	○語彙のトレーニング：小テスト① ○日本語の文の構造について学習した上で問題演習を行う。 <教科書>第1課 ことばと表現を知ろう IV 文の構造	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
3	日本語表現の基礎（2）	○語彙のトレーニング：小テスト② ○文の構造に関する演習問題、及び助詞の重要性を学習した上で問題演習を行う。 <教科書>第1課 ことばと表現を知ろう IV 文の構造 V 助詞	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
4	日本語表現の表現（3）	○語彙のトレーニング：小テスト③ ○助詞に関する問題演習を行う。 <教科書>第1課 ことばと表現を知ろう V 助詞	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
5	会話表現	○語彙のトレーニング：小テスト④ ○スピーチをする際のポイントを学んだ上で自己紹介の原稿を作成する。（提出課題1） <教科書>第2課 話してみよう I スピーチ	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
6	敬語表現（1）	○語彙のトレーニング：小テスト⑤ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。 <教科書>第3課 敬語・敬語表現を使おう I 敬語の種類	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
7	敬語表現（2）	○語彙のトレーニング：小テスト⑥ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。 <教科書>第3課 敬語・敬語表現を使おう II 敬語の用法、その1	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
8	敬語表現（3）	○語彙のトレーニング：小テスト⑦ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。 <教科書>第3課 敬語・敬語表現を使おう III 敬語の用法、その2	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
9	敬語表現（4）	○語彙のトレーニング：小テスト⑧ ○敬語表現について学習した上で、問題演習を行う。 <教科書>第3課 敬語・敬語表現を使おう IV 敬意表現	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
10	実用的な文章（1）	○語彙のトレーニング：小テスト⑨ ○手紙文の形式と書き方を学習する。 <教科書>第4課 書いてみよう III 手紙文	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
11	実用的な文章（2）	○語彙のトレーニング：小テスト⑩ ○ビジネス文書の形式と書き方を学習した上で、問題演習を行う。 <教科書>第4課 書いてみよう V ビジネス文書	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	文章の要約（１）	○語彙のトレーニング：小テスト⑪ ○文章を要約するポイントを学んだ上で、問題演習を行う。 <教科書>第４課 書いてみよう Ⅰ 文章の要約	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
13	文章の要約（２）	○語彙のトレーニング：小テスト⑫ ○要約文を作成する。（提出課題２） <教科書>第４課 書いてみよう Ⅰ 文章の要約	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
14	論作文（１）	○語彙のトレーニング：小テスト⑬ ○論作文の書き方を学習する。 <教科書>第４課 書いてみよう Ⅱ 論作文	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60
15	論作文（２）	○語彙のトレーニング：小テスト⑭ ○論作文を作成する。（提出課題３） <教科書>第４課 書いてみよう Ⅱ 論作文	小テスト範囲の予習及び学習した内容の復習。	60

授業名	総合英語コミュニケーション		配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択
担当教員名	◎佐藤 久美			
開講期	後期			
授業の概要	日常生活における基礎的な英語コミュニケーション能力の習得を目指す。特定の場面を想定した日常英会話のリスニング、およびロールプレイングによるスピーキングの練習を行う。また、調理や栄養に関する資料を英語で読み、実用的な語彙とリーディングスキルの強化を図る。学期後半は、ショートプレゼンテーション（英語で3分クッキング）の準備を通して、基礎的なライティングスキルを身につける。プレゼンテーションの発表原稿は添削・返却し、コメント等によるフィードバックを行う。			
授業の到達目標	1. 基礎的な英会話表現を理解し、簡単なフレーズを使って応答することができる。 2. 調理や栄養に関する語彙を習得し、実用的な資料を英語で読むことができる。 3. 基本的な文法を理解し、調理や栄養について簡単な英語で説明することができる。 単位認定の最低基準は、上記内容の7割程度習得していること。			
履修条件	短期大学部1年生	成績の 評価方法・基準	小テスト（20％）、ショートプレゼンテーション（50％） 受講姿勢（30％）	
テキスト	Richards, J. C. & Bohlke, D. (2012). Speak NOW 2. Oxford University Press.			
参考書	授業の中で随時紹介			
学生への要望	日常生活における基礎的な英語の“練習”を目的としています。難しい英語は使いませんので、安心して授業に臨んでください。発音や文法を過度に意識せず、積極的に発話してください。			
位置付け・水準	GC1112			
ディプロマポリシーとの関係	食と栄養の専門性、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力			
オフィスタイム	毎週火曜 10:40～12:10、No.7研究室（創学館4F）、それ以外はkumi.sato@koriyama-kgc.ac.jpにメールして日時を設定			
アクティブラーニング実施内容	ロールプレイングによるスピーキングの練習、ショートプレゼンテーション他			
実務家教員の経歴	実務経験なし			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション 【Lesson 14】I'd have to have ...	・ 授業の流れや成績評価方法、オフィスタイム等の確認 ・ 英語の知識量とコミュニケーション力の違い ・ 【Lesson 14】仕事に必要な物・事	自己紹介の内容を日本語でまとめる。	90
2	【Lesson 15】I travel for free.	・ 【Lesson 15】各職業のメリット/デメリット ・ 英語レシピのリーディング	【Lesson 15】を読み、語彙を確認する。	90
3	【Lesson 16】Is the manager there?	・ 【Lesson 16】求人に関する問い合わせ ・ 英語レシピのリーディング	【Lesson 16】を読み、語彙を確認する。	90
4	【Lesson 17】That sounds fun!	・ 【Lesson 17】休日の過ごし方 ・ 英語レシピのリーディング	【Lesson 17】を読み、語彙を確認する。	90
5	【Lesson 18】I'd love to go.	・ 【Lesson 18】遊びのお誘い ・ 英語栄養成分表示のリーディング	【Lesson 18】を読み、語彙を確認する。	90
6	【Lesson 19】I'm sorry, but I can't.	・ 【Lesson 19】お誘いのお断り ・ 各国食事バランスガイドのリーディング	【Lesson 19】を読み、語彙を確認する。	90
7	【Lesson 20】Sorry, I'm late.	・ 【Lesson 20】遅刻のお詫び ・ Healthy eating ガイドラインのリーディング	【Lesson 20】を読み、語彙を確認する。	90
8	【Lesson 21】Did you go alone?	・ 【Lesson 21】友人の旅行話 ・ Healthy eating ガイドラインのリーディング	【Lesson 21】を読み、語彙を確認する。	90
9	【Lesson 22】Which do you prefer?	・ 【Lesson 22】旅行に関する好み ・ プレゼンテーション日本語原稿作成	【Lesson 22】を読み、語彙を確認する。	90
10	【Lesson 23】You must get a visa.	・ 【Lesson 23】旅行の準備 ・ プレゼンテーション読み原稿英訳	【Lesson 23】を読み、語彙を確認する。 プレゼンテーション日本語原稿をまとめる。	90
11	【Lesson 24】When is the next train?	・ 【Lesson 24】チケットの購入 ・ プレゼンテーション読み原稿英訳	【Lesson 24】を読み、語彙を確認する。 プレゼンテーション読み原稿の英訳を進める。	90
12	【Lesson 25】I usually wear...	・ 【Lesson 25】場面に応じた服装 ・ プレゼンテーションスライド作成	【Lesson 25】を読み、語彙を確認する。 プレゼンテーション読み原稿の英訳をまとめる。	90
13	【Lesson 26】What do you think?	・ 【Lesson 26】服装に関する意見 ・ プレゼンテーションスライド作成	【Lesson 26】を読み、語彙を確認する。 プレゼンテーションスライド作成を進める。	90
14	【Lesson 27】Can you do me a favor?	・ 【Lesson 27】お願い事 ・ プレゼンテーション英語原稿読み練習	【Lesson 27】を読み、語彙を確認する。 プレゼンテーションスライドをまとめる。	90
15	プレゼンテーション 【Lesson 28】What is it used	・ プレゼンテーション ・ 【Lesson 28】物の利用目的や使い方	【Lesson 28】を読み、語彙を確認する。 プレゼンテーションに向けて練習する。	120

授業名	英語表現法	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎ダニエル ホーナー			
開講期				
授業の概要	OUTLINE OF 英語表現法 (English Expression Methods - EEM) for 2025-2026: A. Students should be able to understand and use language concerning familiar everyday topics, such as starting conversations and describing personalities. B. Students should be able to give basic personal and family information. C. Active learning is substantially utilized in every lesson! EVALUATIONS FOR THIS CLASS: 1. You should be able to give a short clear self-introduction. 2. You should be able to read smoothly and understand short passages. 3. You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form. FEEDBACK: Educative feedback is frequently given to students on their conduct, homework, quizzes and tests that is positive, constructive and considers the individuality of each student, but also the diversity of all of the students.			
授業の到達目標	ACHIEVEMENT GOALS OF THIS CLASS: 1. The main focus will be to enhance key listening and language proficiency. 2. Required tests and homework will incorporate many listening tasks to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam. 3. The minimum standard to receive 2 credits for this subject is to achieve 70% or higher on the overall average of these main criteria: attitude, actively learning, homework, and tests. 4. Language acquisition is best achieved with the goals of active learning and active participation.			
履修条件	短大1年生	成績の 評価方法・基準	1. Attitude, Homework, Actively Learning - (10%) 2. Multiple Choice Mini-Test - ミニテスト (40%) 3. Multiple Choice Final Test - ファイナルテスト (50%) "Multiple Choice Test" in Japanese is 「選択テスト」.	
テキスト	Textbook: "Speak NOW 2" by Jack C. Richards & David Bohlke Publisher: OXFORD ISBN: 978-0-19-403016-8 (This same textbook can be used for 2 different subjects. この教科書『Speak NOW 2』は、英語表現法と総合英語コミュニケーションにも使用されています。)			
参考書	Prints and reference materials produced by the instructor.			
学生への要望	Don't miss class. Be attentive. Do regular listening of your audio files. Prepare and review at least 120 minutes for each class. Review all materials including textbook, online self-study, prints, and other supplemental materials. Read and review the data on the MOCA Page frequently.			
位置付け・水準	位置付け・水準 (ナンバリング)はGC1113です。			
ディプロマポリシーとの関係	The "Diploma Policy" (DP) for this subject stipulates "Cooperation with Others" and "Human Development."			
オフィスタイム	Mondays and Wednesdays, 5th period (16:20 ~ 17:50), and by appointment, at 創学館 4 F No.1 研究室, and sometimes other locations. I'll help you any time you need help!			
アクティブラーニング実施内容	Active learning is used in every lesson through methods including class discussions about relevant subjects, small group discussions for debate and frequent speaking opportunities, pair work for thoughtful discussions, and the "Think-Pair-Share" method to promote creativity in active learning.			
実務家教員の経歴	Instructor for this course taught English at Koriyama Women's University Attached High School for 19 years. (このコースのインストラクターは、郡山女子大学附属高等学校で19年間英語教員として勤めました。)			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Introduction to the Class	Introduction to Textbook Lessons 1-4: FRIENDS & FAMILY. Textbook Lesson 1 - Where are you from? Pp. 2-3. Explain textbook, tests, quizzes, active learning, external supplements, assignments (homework), and attendance. Introduce the "MOCA Page" online supplement. Active learning through interviewing class members.	Review the textbook. Read through "Scope and Sequence" and pp. 2-3 of the textbook. Review lessons we will do for the class. Review the textbook units and the online activities. Prepare textbook and computer (or cell phone) for all classes and bring them to every class. Study the MOCA page extensively for every lesson!	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
2	Textbook Lesson 1	Review Textbook Lesson 1 - Where are you from? Pp. 2-3. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 2-4. Conversation. Active learning through a pair work activity. English in Action video, page 10. Watch and explain online video.	Review the textbook. Review pp. 2-3. Listen to CD tracks 2-4. Do first online assignment.	120
3	Lesson 2	Lesson 2 - I'm tall and thin. Pp. 4-5. Review Lesson 1. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 5-6. Conversation. Active Learning: pair work activity.	Review the textbook. Read pp. 4-5. Listen to CD tracks 5-6. Do online assignment.	120
4	Lesson 3	Lesson 3 - Alice is more serious. Pp. 6-7. Review Lesson 2. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 7-8. Conversation. Active Learning: pair work activity.	Review the textbook. Read pp. 6-7. Listen to CD tracks 7-8. Do online assignment.	120
5	Lesson 4	Lesson 4 - All of my friends text. Pp. 8-9. Review Lesson 3. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 9-11. Conversation. Active Learning: pair work activity. Summary review of lessons 1-4 on pp. 10-11. Confidence booster.	Review the textbook. Read pp. 8-9. Listen to CD tracks 9-11. Do online assignment. Read ahead to pp. 12-13. Review English in Action online video supplement on p. 10.	120
6	Lesson 5	Introduction to Lessons 5-8: RESTAURANTS. Lesson 5 - I've never had Thai food. Pp. 12-13. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 12-13. Conversation. Active Learning: pair work activity, and small groupwork describing favorite dishes.	Review the textbook. Read pp. 12-13. Listen to CD tracks 12-13. Do online quizzes to prepare for the Mini-Test.	120
7	Lesson 6	Lesson 6 - First, grill the bread. Pp. 14-15. Review Lesson 5. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 14-16. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groupwork giving instructions on how to cook a dish. Prepare for next week's Mini-Test.	Review the textbook. Read pp. 14-15. Listen to CD tracks 14-16. Do online assignment. Study hard for next week's Mini-Test.	120
8	Lesson 7, Mini-Test	Lesson 7 - The service is great. Pp. 16-17. Review Lesson 6. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 17-18. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groupwork describing restaurant merits. Students take the Mini-Test today. (The Mini-Test is a midterm multiple-choice test.)	Review the textbook. Read pp. 16-17. Listen to CD tracks 17-18. Prior to this lesson, review quizzes and study hard for the Mini-Test.	120
9	Lesson 8	Lesson 8 - Are you ready to order? Pp. 18-19. Review Lesson 7. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 19-21. Conversation. Active Learning: pair work activity. Summary review of lessons 5-8 on pp. 20-21. Confidence booster.	Review the textbook. Read pp. 18-19. Listen to CD tracks 19-21. Do online assignment. Review pages 20-21. Watch English in Action online video supplement on p. 20.	120
10	Lesson 9	Introduction to Lessons 9-12: HEALTH. Lesson 9 - I have a sore throat. Pp. 22-23. Review Lesson 8. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 22-23. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groupwork describing personal injuries and accidents.	Review the textbook. Read pp. 22-23. Listen to CD tracks 22-23. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
11	Lesson 10	Lesson 10 - What should I do? Pp. 24-25. Review Lesson 9. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 24-27. Conversation. Active Learning: pair work activity, and groups discussions on ways to improve diets.	Review the textbook. Read pp. 24-25. Listen to CD tracks 24-27. Do online assignment. Watch English in Action online video supplement on p. 30.	120
12	Lesson 11	Lesson 11 - I'd love to try that! Pp. 26-27. Review Lesson 10. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 28-29. Conversation. Active Learning: pair work activity, and discussion about extreme sports.	Review the textbook. Read pp. 26-27. Listen to CD tracks 28-29. Do online assignment. Review English in Action online video supplement.	120
13	Lesson 12	Lesson 12 - Soccer is more exciting! Pp. 28-29. Review Lesson 11. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 30-32. Conversation. Active Learning: pair work activity. Summary review of Lessons 9-12, pp. 30-31. Confidence booster.	Review the textbook. Read through pp. 28-29. Listen to CD tracks 30-32. Do online assignment. Review pp. 30-31. Review English in Action online video supplement.	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	Lesson 13	Introduction to Lessons 13-16: JOBS. Lesson 13 - I can write pretty well. Pp. 32-33. Review Lesson 12. Listening and Pronunciation. Listen to CD tracks 33-36. Conversation. Active Learning: pair work activity, and discussions in groups of 5 about what students are good at. Review for next week's Final Test.	Review textbook lessons 1-16. Read through all textbook lessons from pp. 2-39. Listen to CD tracks 33-36. Do final online assignment. Review all of the English in Action online video supplements. Prepare and study hard for next week's Final Test.	180
15	Review Lessons 1-16, Final Test Review, Take Final Test	Review all textbook lessons by doing a comprehensive textbook review of Lessons 1-16. Review all CD Tracks and Conversations in textbook. Active Learning: pair work activity to review for Final Test. Take the Final Test today. (The Final Test is today, so there is no test next week during the regular university testing period.)	Review the textbook. Before this class, read through the pages indicated to study for the Final Test. Listen to all audio tracks indicated for test preparation. (The Final Test is taken during the 15th lesson today).	225

授業名	健康スポーツ論	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎佐藤 浩明			
開講期				
授業の概要	GC1114 健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、スポーツの意義、特性を理解し、生涯にわたって自ら健康について考え行動できる力を習得する。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動と健康の関連を理解し、エクササイズの方法や身体についての基礎知識を学びます。 ②スポーツの意義を理解し、自分の健康や行動のありかたについて学びます。 ③レポート、等は口頭またはコメントで書き返却します。			
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得すると共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力（人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 ・人間形成 レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。			
履修条件	幼児教育学科 1年生 健康栄養学科 1年生 ※教職課程履修者は必修	成績の 評価方法・基準	レポート60点 平常点 40点（取組姿勢・提出物）	
テキスト	特になし（必要に応じて資料、課題を配布します）			
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「メンタルトレーニング：ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学：大修館書店」			
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。			
位置付け・水準	GC1114			
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 ・人間形成 スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる			
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室			
アクティブラーニング実施内容	無し			
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリンピックについて	オリンピックの歴史と現状やオリンピズム、オリンピック憲章について学び、スポーツが持つ魅力について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
2	生活と健康について①	《健康とは何か》 健康について考える導入として「健康の定義」をWHO（世界保健機関）の憲章をふまえ様々な角度から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
3	生活と健康について②	《生活習慣病の原因・対策・予防と運動》 ①生活習慣病の原因と予防、対策について理解し運動との関係について学びます。 ②運動・休養と健康の関係について学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
4	生活と健康について③	《大学生の健康》 大学生の生活に潜む健康を害する危険について理解し、セルフライフマネジメントについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
5	生活とスポーツについて①	《スポーツとは何か》 スポーツの意味を理解し、スポーツの社会的価値とスポーツに期待されることについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
6	生活とスポーツについて②	《生涯スポーツについて》 生涯スポーツに関わることが自分の健康や生涯の楽しみにもどう影響するのか、①行う ②観る ③支える ④調べるの視点から学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	生活とスポーツについて③	《大学生とスポーツ》 大学生になり、高等学校まで必修で行われてきた体育の授業は著しく減少します。その中で自分の健康について興味を持ち、運動やスポーツについてどう関わるかについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30
8	スポーツから学ぶ①	《フェアプレーについて》 スポーツは定められたルールの中で勝敗を競い合うものです。それは日常の生活や普段の行動にも通じるものがあります。ここではスポーツの中からフェアプレーについて学びます。	脈拍130前後の運動を30分以上行う	30

授業名	スポーツ実技	配当年次 単位数	短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択
担当教員名	◎佐藤 浩明		
開講期			
授業の概要	GC1115 生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性や楽しさを理解し、生涯にわたって自分の健康や体力について配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技を通して学びます。また久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。 ①運動の重要性を理解し、健康との関連について学びます。 ②運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ③運動を通して基礎体力の維持、向上する方法について学びます。 ④レポートは口頭またはコメントを書き返却をます。		
授業の到達目標	健康的な生活に欠かすことのできない運動の方法や効果、自ら健康について考え行動できる力を習得する。スポーツ種目に必要な技術を習得する と共にコミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知り人間力（人間性）を身に付ける。また健康で豊かな生活を営むことができる人間の育成を教育の目的とする。 【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 ・人間形成 レポート、実技テスト等を受けることを最低基準とする。		
履修条件	健康栄養学科 1年生	成績の 評価方法・基準	取組姿勢40点 実技試験60点 ※本科目は実技科目のため出席、積極的な取組みを重視します)
テキスト	特になし（必要に応じて資料等配布します）		
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ：大修館書店」「公認スポーツ指導者養成テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ：(財)日本体育協会」「スポーツトレーニング理論：日本文芸社」「ストレッチメゾット：高橋書店」		
学生への要望	自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。 【授業中】積極的に取組み、運動を楽しむこと。タオル、水分は各自で必ず持参すること。（体調管理および熱中症対策）		
位置付け・水準			
ディプロマポリシーとの関係	【ディプロマ・ポリシーとの関係】 ・他との協調 ・人間形成 スポーツを通して人間として人格形成を志向、自己の専門知識と技術を社会のために活かし、社会責任を果たす事ができる		
オフィスタイム	火・木の9:00～16:00まで創学館NO4研究室		
アクティブラーニング実施内容	無し		
実務家教員の経歴	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認（注意事項含む） ③グループ分け	運動着、水分を準備してくる事	30
2	縄跳び①／からだづくりの運動	【テーマ：運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】 【到達目標】 ＊スポーツ種目に必要な技術を習得する ＊コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
3	縄跳び②／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
4	縄跳び③／からだづくりの運動	【テーマ：楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び（個人およびグループ） ⑥クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
5	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
6	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
8	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
9	フライングディスク④／からだづくりの運動	【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
10	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
11	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
13	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
14	バレーボール⑤／からだづくりの運動	【テーマ：バレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】 【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④バレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30
15	実技のまとめ	《まとめとして実技試験を行う》 ①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃	ストレッチ、準備運動を行う。タオル、水分を準備する	30

授業名	情報処理Ⅰ	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎山口 猛			
開講期				
授業の概要	パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習ではオペレーティング・システム(OS)の基本操作・メールやウェブの利用方法・文書作成・表計算について学習する。フィードバックとして、未提出物がある場合や自学自習欄の提出物の内容が不十分である場合などは追加課題の実施等を行う。			
授業の到達目標	本演習における達成目標は次の通りとする。 1. オペレーティング・システム(OS)の基本的な操作ができること。 2. ウェブとメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。 単位認定の最低基準：内容の7割を理解していること			
履修条件	なし。	成績の 評価方法・基準	達成目標の到達度合いは提出物・課題により評価する。内容毎に課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は提出物を１５％、課題１を１５％、課題２を３５％、課題３を３５％とする。	
テキスト	イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラル Office 365・Office 2021対応、noa出版（2022）			
参考書	なし。			
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。			
位置付け・水準	GC1116			
ディプロマポリシーとの関係	「他との協調」「人間形成」			
オフィスタイム	月曜1限・月曜3限 芸術館2階No.3地域創成学科研究室			
アクティブラーニング実施内容	授業全体を通してパソコン操作を含むアクティブラーニングを実施			
実務家教員の経歴	システムエンジニアとして株式会社エフコムに勤務 システム開発・情報処理の経験をもとに、文書作成・表計算についての授業を行う。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価について説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。	復習として次のことを行うこと。 ・Webメールから携帯電話へメールを送信する(正しく着信することを確認する)。 ・携帯電話からWebメールのアドレスへメールを送信する。メールが転送されることを確認する。	45
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえ、インターネットを利用するためのセキュリティーについて触れる。	復習として、次の点についてまとめること。 ・URLの構造 ・インターネットを利用する際に注意すべきポイント	45
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。 メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、TO, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。 また Email を利用するためのセキュリティについて学ぶ。 ローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。	復習として、Emailアドレスの構造とTO, CC, BCC の違いをまとめること。	30
4	課題1	インターネット（ブラウザ・メールなど）の用法について、正しく利用できるか確認をする。 また次回以降の教材の準備を行う。 教材のダウンロード http://www.noa-prolab.co.jp/download/	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	30
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味の理解とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。	復習として、日本語変換の方法を再確認し、教科書の練習6を行ってみること。	20
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めた図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いてWord STEP2 確認テスト1・確認テスト2を実施すること。 提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となるExcel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いてWord STEP2 確認テスト3, 確認テスト4を実施すること。	40

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
9	表の作成	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、オートフィルや書式の設定などについて学	復習として、授業内でオートフィルの機能を用いて作成した連続データを、再度作成してみること。	30
10	計算とアドレス	数式を用いた計算方法を学ぶ。特に表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.141までを読んでもおくこと。このほか提出用課題を実施し、指定の期日までに提出すること。	80
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。	予習として教科書のp.132からp.152までを読んでもおくこと。	30
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP2 確認テスト5, 確認テスト6を実施すること。	30
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。	復習として、eLearning Systemを用いて Excel STEP3 確認テスト1, 確認テスト2を実施すること。	30
14	課題 3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。	課題でできなかった点について、教科書等を用いて復習しておくこと。	60
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ	予習として、パワーポイントに関する章を読んでもおくこと。	30

授業名	キャリアデザインⅠ	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 2単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎知野 愛 長谷川 貴弘			
開講期	Ⅰ期			
授業の概要	本学におけるキャリア教育は、「一人一人の社会的自立に向け、生涯を通して自己を磨き続けることができる能力を育成するための教育」と定義されます。本授業では、まず大学生として学ぶ姿勢の基本を身につけることで、「つくる力」(創造力、論理的思考力、表現力)と「かかわる力」(主体的行動力、コミュニケーション能力、倫理・道徳観)という社会で活躍するための基礎力を確認し、主体的に大学生活を送ることで各自のライフキャリアを構築できるようにします。 □最終授業で全体に対するフィードバックを行います。			
授業の到達目標	初回と最終回の自己評価票の記入、2回の課題レポート提出、最終回にテキスト提出を単位認定の最低基準とする。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	授業時のワークへの取り組み状況（使用テキスト提出）と提出物（2回のレポートと最終授業のマンドラチャートは必須）から「認」評価を判定する。	
テキスト	教材集「キャリアデザイン」配布			
参考書	授業中に適宜提示する。			
学生への要望	・自分自身の進路について、周囲の友人や家族と日常的に話してみましょう。また、身近にいる社会人から仕事や家庭生活に関する話を聞いてみることも、進路を考える上でヒントになります。 ・就職部の実施する就職ガイダンス・各種模擬試験・インターンシップなどの活動に積極的に参加しましょう。			
位置付け・水準	位置づけ CD1903			
ディプロマポリシーとの関係	ディプロマ・ポリシーとの関係： 課題解決力・主体的行動力			
オフィスタイム	各担当教員が授業初回時に説明します。			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーションーキャリアデザインの意義と目的	本講義の目的・意義・内容・計画を理解した上で、「キャリア」とは何か、「キャリアをデザインする」とはどういうことかを考えます。	自己評価票を真摯に記入し、現時点での自分をよく観察してみましょう。	60
2	郡山女子大学を知ろうー建学の精神と学園の歴史	学園の歴史と建学の精神の基本的な考え方を解説します。	大学のホームページや図書館で『学園史』を手にとったり、集会などで学科の先生と建学の精神について話し合ってください。	60
3	「つくる力」を育てる(1)ー情報を読む力・まとめる力	講義から情報を読む力（聴く力・ノートにまとめる力）をトレーニングします。	講義を聞く姿勢、ノートの取り方の基本は同じでも、詳細は科目によって異なります。自分でも工夫を心掛けてみましょう。	60
4	「つくる力」を育てる(2)ー書く力・伝える力の育成	レポートの書き方を手掛かりに事実と意見の違いや「きちんと考える」ことの必要性を確認します。	新聞や参考文献、友人や家族と話し合ってみて、レポートの構成を良く考えましょう。	120
5	「つくる力」を育てる(3)ー社会でのパソコン活用マナー	メール作成の方法、添付ファイルの方法、パソコンによるレポート作成の方法を基礎から学びます。	パソコンを用いてレポートを書いた後、提出前に必ず読み直しをして「推敲」しましょう。	120
6	「かかわる力」を育てる(1)ーお金から考えるライフプランニング	長いキャリアを生きる中で、私たちは多くのライフイベントを経験し、生活共同体の中での役割を変化させていきます。その時々々の状況を経済的側面から考えます。	講義の後、自分自身や家族の貯金・保険・年金などについて実際に具体的な話をしてみましょう。	60
7	「かかわる力」を育てる(2)ー働くためのルール	労働法の基礎知識から働く上での諸問題への対応方法を考えます。	講義の後、自分自身のアルバイト経験や家族の働き方について話をしてみましょう。	60
8	「かかわる力」を育てる(3)ー女性のキャリアモデルを知ろう！① 講演	社会で活躍している卒業生を講師としてお招きし講話を伺います。	講演を傾聴し、講演後はSNSや新聞などで講演者や時代などについて調べてみましょう。もっと多くのモノが見えてきます。	60
9	「かかわる力」を育てる(4)ー女性のキャリアモデルを知ろう！② グループ討論	前回の外部講師の講演を踏まえて討論し、レポートを作成します。	授業時間だけでなく、友人とレポート執筆を念頭に是非意見交換をして下さい。	120
10	「かかわる力」を育てる(5)ー多様化する生活とワーク・ライフ・バランス	女性のライフコースの多様な選択肢をワーク・ライフ・バランスに着目して考えます。	現時点の自分の考えを確認すると共に、家族や友人と意見交換をして、異なる意見に沢山出会ってください。	60
11	「かかわる力」を育てる(6)ー働き続けるための支援	出産・育児や介護と雇用労働を両立させるための制度を学びます。共働き増加の背景や課題なども考えます。	共働き夫婦が利用すると助かるサービスとして何がありましたか？そのサービスの利点や欠点も考えてみましょう。	60

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
12	「かかわる力」を育てる(7) ー「自分」と「社会」との結びつき	PM理論やソーシャルスキルを学び、社会（集団）の中で適応的に「個人」として生きることについて考察します。	学校生活だけでなく、家庭や友人関係、サークル活動、アルバイトなど多様な集団と個人の間をを考えてみましょう。	60
13	「かかわる力」を育てる(8) ーアサーショントレーニング①	堂々と自分の意見を述べるために必要なアサーションの考え方の基本を学びます。	アサーションは、自分自身が考え納得して行動することが大切です。表面的なテクニックだけでなく、よく自分の内面と向かい合ってみてください。	60
14	「かかわる力」を育てる(9) ーアサーショントレーニング②	アサーションの技術を向上させる。I・Youメッセージを学びます。	アサーションは、自分自身を守るためだけでなく、相手のことを考えることに繋がります。周りの人とよく話し合ってみましょう。	60
15	まとめ ー自分のキャリアを創ろう！	自己評価票の記入・授業アンケートを実施し、「マンダラチャート」を作成して各自のキャリアプランの作成を試みます。	初回の自己評価票とじっくり比較すると共に、「マンダラチャート」で次の具体的な一歩を明確にしましょう。	60

授業名	キャリアデザインⅡ	配当年次 単位数	短期大学部 幼児教育学科 1年 1単位 選択/短期大学部 健康栄養学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎森 みい			
開講期				
授業の概要	【授業のねらい】 将来の社会生活や職業生活に向けて、自らの資質を向上させ、社会的職業的自立を図るために必要な能力を培い、幅広い人間形成を図ることを目的としています。社会人としての自覚と行動を視野に入れて、主体的にキャリア形成能力を育成します。働くことの実態、意義、面白みを体感していきます。インターンシップを推進して、学生の自己認識、社会・職業認識の深化を促し、就職意欲のある学生に対して、豊富かつ適切な就職情報を提供するとともに希望に添った就職活動が行えるよう支援します。 インターンシップ終了後に、課題・レポート提出及び、インターンシップ報告会を行い、課題についてフィードバックを行います。 【授業の概要】 インターンシップ（就業体験）を通じ、自らの専門や将来希望する職業の関連した職場での体験で、学んでいる内容と社会との関連性を認識し、今後の主体的な学修への動機付けを強め、職業を具体的に理解することで仕事の奥深さを実感していきます。働くことについて総合的に理解や仕事をする達成感、充実感、社会貢献を体得します。前期7回の講義、夏休み期間中のインターンシップ（5日間）、および、受け入れ企業のご担当者を招いた報告会から構成されています。インターンシップ終了後報告書を作成することで成果と課題を理解します。担当者は、大学・短大の就職部長であり、キャリアコンサルタントの資格を有し、就職指導にあたっている経験を活かし授業を行います。			
授業の到達目標	【授業終了時の達成目標】 インターンシップを通して、社会人として必要な能力と知識を学び、課題解決力を養っていきます。また、新たな学習意欲の契機となるように、仕事の奥深さを実感し、働くことへの理解や充実感を感じ、人々の生活向上や社会に貢献ができることを目標とします。			
履修条件	特になし	成績の 評価方法・基準	就業体験60％・報告会20％・提出物20％「認」評価判定	
テキスト	なし			
参考書	なし			
学生への要望	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
位置付け・水準	GC1118			
ディプロマポリシーとの関係	学修成果から人材を育成し、社会へと送り出す			
オフィスタイム	12時30分以降(月～金)			
アクティブラーニング実施内容	インターンシップは自分の変化や成長を実感できる機会です。広い視野を持ち、各個人のキャリアを考えて、新たな挑戦で自らの可能性の枠を広げてみてはどうでしょう。			
実務家教員の経歴	就職部長、キャリアコンサルタント			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	インターンシップの概要 4/10(Vコマ)	インターンシップの概要説明で理解を深める、インターンシップの目的の明確化。各業界の今後の発展方向をみる。就業体験先の希望調査。「インターンシップ希望調査票」「志望理由」の提出と、インターンシップに必要な書類についての確認をする。	就業体験先の希望調査があるので、企業・業界研究をしておく。 インターンシップの目標を設定する。	30
2	インターンシップの心構え 4/17(Vコマ)	働く人の話を聞き、仕事の内容、組織での関りを学び、インターンシップの考えを深化させていく。	インターンシップを具体的にどのように考えていくか、社会人の話を聞き、企業研究をする。	30
3	企業研究(講演) 5/15(Vコマ)	身近な経営者の講演を実施習意欲を高めていく。また、人生をどのように生きていく、自分の将来のキャリアプランを考える。	企業の働きから、社会の動向を学び、働く事への理解を深める。	30
4	事前指導 (ビジネス文書作成) (5/29 Vコマ)	日誌の書き方、メールと封書でのお礼状の書き方を理解して実践する。また電話やメールのアポイントのとり方を学ぶ。また、就業体験先の決定をする。	手紙の書き方、ビジネスでのメール送信、電話の掛け方等、一般的なナマールを確認しておく。	30
5	事前指導 (マナー講座) 6/12(Vコマ)	マナー講座実施を通して、言葉遣い、立ち居振る舞い、挨拶等、円滑な人間関係を築くための基礎を身に付ける。就業体験先との打合せを始める。	挨拶・言葉遣いを実践で学んでいくので、印象のいいマナーを日常から意識をして練習する。	30
6	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/3(Vコマ)	インターンシップ直前の留意点を確認しながらインターンシップ先の情報を収集して、目的を明確にする。企業の方針、理念を確認する。	企業への理解を深めるために、業界研究を深め、自分でできる事を明確にする。主体的なキャリアを作り上げていくのに必要な能力を養う。	30
7	直前指導 (インターンシップ先の企業研究)7/17(Vコマ)	業界・企業知識やインターンシップ(就業体験)の基本知識を学び、企業研究を深める。先輩の体験からインターンシップ直前の留意点を確認する。	インターンシップ先にアポイントを取り担当者と打合せをする。電話の掛け方、インターンシップに向けてマナーの練習をする。	30
8	インターンシップ実施 1班 9/1～9/5 2班 9/8～9/12	各企業において、夏季休業中(9月上旬～9月中旬)に5日間のインターンシップ(就業体験)を行います。	企業研究及び交通手段の確認をする。インターンシップ先の企業研究を行い、最終確認をする。	30
9	インターンシップ報告会 9/18(Vコマ)	事後報告会として、グループで全員が報告会を実施する。実習日誌、その他の提出物を提出する。	報告会の準備と提出物の最終確認をする。	30

授業名	英語（リーディング&ライティング）	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎安田 純子			
開講期				
授業の概要	英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのためにもその必要度は増してきています。 本講座では、基礎的な英語の理解力を高め、英語の読解力（読む力）を伸ばすこと、英語での表現力（書く力）を総合的に習得することを目標とします。 バランスのとれた英語力習得のために不可欠な単語力養成と文法・語法の着実な理解を図ります。 最終授業で全体に対するフィードバックを行います。			
授業の到達目標	目標は ①平易な英語の文章（英検3級レベル程度）を読んでものおおよその意味を把握できる。 ②基本的な英文の構造や文法をある程度理解している。 ③基本的な単語を用いて、平易な英文が書ける。 単位認定の最低基準は、内容の7割以上を理解していること。			
履修条件	受講資格 地域創生学科 1年以上	成績の 評価方法・基準	成績評価方法 試験50%、豆テスト30%、課題20%	
テキスト	教科書 Enjoyable Reading [SEIBIDO]			
参考書	参考書 英和辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものをすすめます。			
学生への要望	学生への要望 編入対策も意識して英語のレベル・アップを図るため、予習復習などまじめに取り組むこと。			
位置付け・水準	CD1109			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解、創造的思考力			
オフィスタイム	月曜日13:00~16:30 金曜日13:00~16:00 場所は、創学館4F No.1研究室			
アクティブラーニング実施内容	Pair work, Group work, Chorus reading, Q&A			
実務家教員の経歴	高校教員（英語）経験あり。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	Class Introduction	・ Explanation (Contents, The meaning of learning of English, course purpose and exposed goals, evaluation details) ・ Contents (テキストの目次から)	small test の準備	60
2	Small Test①②	・ Small Test①②	small test の復習	40
3	Chapter1 A Lesson from Bhutan	1 Key Sentence Patterns 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition ,Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
4	Chapter2 The Story of Mother's Day	1 Key Sentence Patterns (Pattern7~pattern12) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guideed Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition,Essential Basic Sentence Patterns, Phrase Reading)	90
5	Chapter 3 George Morikami's Dream	1 Key Sentence Patterns (Pattern13~pattern18) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reaging	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition, Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reaging)	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	Chapter 4 Pizza:An International Favorite	1 Ker Sentence Patterns (Pattern19~Pattern24) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition,Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
7	chapter5 The Story of the Red Rose	1 Key Seneence Patterns (Pattern25~Pattern31) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Duided Summary 5 Dialogue 6 Oral composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral composition ,Essential Basic Sentence Patterns, Phrase Reading)	90
8	Chapter 6 Mademe Butterfly and Intercultural Marriages	1 Key Sentence Patterns (Pattern32~Pattern38) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questoins 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition, Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
9	Chapter7 A Siesta Makes You Smarter!	1 Key Sentence Patterns (Pattern39~Pattern44) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition, Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
10	Chapter 8 Unwanted Pets and Eco-Disasters	1 Key Sentence Patterns (Pattern45~Pattern51) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition, Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
11	Chapter 9 Going Green	1 Key Sentence Patterns (Pattern52~Pattern58) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition,Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
12	Chapter10 Laughter Keeps You Healthy	1 Key Sentence Patterns (Pattern59~Pattern65) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition,Essential Basic Sentence Patterns, Phrase Reading)	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	Chapter11 A Lesson from the Nagasaki Islands / Exam Prep1	1 Key Sentence Patterns (Pattern66~Pattern72) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guidrd Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading ・ Pre session for the Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition, Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
14	Chapter12 A Lesson from the Olympics / Exam Prep2	1 Key Sentence Patterns (Pattern73~Pattern79) 2 Reading Passage 3 Comprehension Questions 4 Guided Summary 5 Dialogue 6 Oral Composition 7 Essential Basic Sentence Patterns 8 Phrase Reading ・ Prep session for the Exam planned Week15 Review of each lesson (復習)	*WAME-UP(Vocabulary Preview, Grammar Point) Assignment (Oral Composition,Essential Basic Sentence Patterns,Phrase Reading)	90
15	Examination / Explanation for Examination / Total Review	・ Examination ・ Explanation for Examination ・ Total Review	・ Examination の準備 ・ 全体のまとめと総復習	120

授業名	地域創成ゼミナールⅠ		
担当教員名	◎知野 愛 小松 太志 斎藤 美保子 福島 寛太郎 桑野 聡 會田 容弘 山口 猛 仲田 佐和子 黒沼 令 佐藤 愛未 佐々木 達矢 杉本 ゆか 米本 順子	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 必修
開講期	Ⅰ期		
授業の概要	本学科の目指す「学生各自の学びとそれを活かした地域活動」に貢献できる人材の育成を進めていく上で重要な基礎力を育むことを目的とする。具体的には、①本学科で「地域」を考えるための手掛かりとして学科所属教員各自の専門分野と地域に関する考え方、取り組みなどを学び、「地域」が人々の生活の連鎖の中で作り上げられてくる歴史的・社会的共同体であることを確認することで地域共同体形成への基本姿勢を準備する。次に後期のはじめに②もみじ会で具体的な企画イベントの実施を経験する。その後、半期の地域創成学科での学びを踏まえて、③実際の地域活動の事例を外部講師を招いて講演いただき、次に④各学生の学びの核となる卒業研究の仮所属期間を挟んで、⑤近代市民社会において私たちが「地域」とどのように関わっていくのかを2年生の地域創成プロジェクト演習の具体例から学び、次年度に取り組む具体的な地域活動への所属を決定する（「他との協調」）。 □もみじ会終了後の後期ガイダンスと最終授業で全体に対するフィードバックを行います。		
授業の到達目標	学生各自が前期の学科教員全員による担当授業から地域創成学科での学びの核と地域活動の繋がりを自覚し、地域形成のさまざまな切り口を例にそれぞれの地域共同体とどのように関わっていくことが出来るかを主体的に考え、最終的に次年度から実際に参加する具体的な地域活動（プロジェクト演習）の所属を決める際に積極的に取り組む姿勢を持つことを達成目標とする。		
履修条件	地域創成学科1年必修	成績の 評価方法・基準	評価方法：各回授業のリアクションペーパー、様々なワークの総合評価(100点) 単位認定の最低基準：授業内容の7割を理解していること。
テキスト	特に使用しません。		
参考書	必要に応じて随時授業の際に提示します。		
学生への要望	この授業は、各自が「学びの核」（卒業研究に繋がる一番力を注ぐ専門分野）を持ちながら、2年次の地域創成プロジェクト演習に連動する地域創成学科の必修科目です。学びを行動に繋ぐ主体性・積極性を期待します。		
位置付け・水準	CD1101		
ディプロマポリシーとの関係	知識理解・創造的思考力・主体的行動力		
オフィスタイム	全体のコーディネーターは副主任（2025年度 知野）が担当します。オフィスタイムは火曜日Ⅱ・Ⅳ限(N0.1地域創成研究室)		
アクティブラーニング実施内容	第12～14回 開成山・麓山エリアのフィールドワーク、グループワーク		
実務家教員の経歴			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス・地域を学ぶ(1) 2025/4/9	シラバス（授業概要・目標・学生への要望等）を説明する。「地域」とは何かを問いかけ、授業や地域創成学科で学ぶ目的を確認する。今後のグループワークについて説明する。	シラバスを再度読み授業概要を確認し、福島手帳を参考に県内の地理的環境を考察する。	30
2	地域を学ぶ(2) 2025/4/16	2025年3月中旬に開館した郡山市歴史情報博物館を見学し郡山市の歴史情報や地域の特色を学ぶ。(Ⅲ・Ⅳ限)	該当科目のシラバスを見ておく、事後は各キーワード3つ程度を更に詳細に調べる。	30
3	学びの核と地域を学ぶ(1) 2025/4/23	学科教員の専門分野と地域との関わりについて講義を受ける。第5～11回にかけて、各回2名の教員が講義を行う。(専門分野：美術史、宗教学)	同上	30
4	学びの核と地域を学ぶ(2) 2025/4/30	同上（専門分野：西洋史、考古学）	同上	30
5	学びの核と地域を学ぶ(3) 2025/5/7	同上（専門分野：日本史、博物館学）	同上	30
6	学びの核と地域を学ぶ(4) 2025/5/14	同上（専門分野：情報教育、数理・データサイエンス）	同上	30
7	学びの核と地域を学ぶ(5) 2025/5/21	同上（専門分野：絵画、彫刻）	同上	30
8	学びの核と地域を学ぶ(6) 2025/5/28	同上（専門分野：デザイン、図書館情報学）	同上	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	学びの核と地域を学ぶ(7) 2025/6/4	同上（専門分野：家族社会学・女性史）、補足・まとめ	同上	30
10	地域を知る(1)2025/6/11	基礎講義「まちを分析する視点ほか」（郡山市役所都市政策課高橋氏）	宿題1.まちをリサーチして「遊べる場所を探そう」2.「遊び」の拡張について考えよう	30
11	グループワーク発表(1) 2025/6/18	グループワークの発表(1) 7グループ×10分	発表練習をする。発表内容や質疑応答で生じた疑問点・関心をもった事項を調べる。	30
12	グループワーク発表(2) 2025/6/25	グループワークの発表(2) 8グループ×10分	発表練習をする。発表内容や質疑応答で生じた疑問点・関心をもった事項を調べる。	30
13	地域を知る(2) 2025/7/2	第10回の宿題の発表、企画書作成と実践に向けたグループワーク	福島県、郡山市の地域資源について調べる。	30
14	地域を知る(3) 2025/7/9	フィールドワーク(開成山地区、麓山地区周辺を中心に)、集合して結果共有(発表)。(Ⅲ・Ⅳ限)	開成山地区、麓山地区周辺の歴史、文化、経済について調べる。	30
15	地域を知る(4) 2025/7/23 補講日	全体発表・フィードバック、フィールドワークの結果をまとめ発表した後、全員でフィールドワーク。(Ⅲ・Ⅳ限)	授業で提出したレポート、地域創成ゼミナールⅡのシラバスを確認する。	30

授業名	地域創成ゼミナールⅡ		
担当教員名	◎知野 愛 小松 太志 斎藤 美保子 福島 寅太郎 斉藤 弘久 桑野 聡 會田 容弘 山口 猛 仲田 佐和子 黒沼 令 佐藤 愛未 佐々木 達矢 米本 順子 杉本 ゆか	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 必修
開講期	Ⅱ期		
授業の概要	「地域創成ゼミナールⅠ・Ⅱ」は本学科1年次必修科目である。地域創成学科のカリキュラムポリシーに則り「文化、歴史、芸術、情報などの専門の学修を通して継続的に社会貢献ができる総合的な人間力を持つ人材の育成」を目的としている。 授業前半では、地域創成ゼミナールⅠのフィールドワークの結果をまとめてグループによる展示発表を行う。 中盤では外部講師の講演と施設見学を通して、福島県の復興状況について理解を深める。 後半では卒業研究・プロジェクト演習のプレゼミに所属して、2年次に向けて各自の専門分野を考える機会とする。		
授業の到達目標	以下、3点を授業の到達目標とする。 ①グループワークの協働を通して、相互理解、情報共有、関係構築、目的の共有、連携の方法と意義について理解する。 ②東日本大震災以来の福島県の復興状況について理解する。 ③2年次の卒業研究、地域創成プロジェクト演習を考慮してプレゼミに所属し、自分の専門性を考える。		
履修条件	地域創成学科1年生 必修	成績の 評価方法・基準	評価方法：各回授業のリアクションペーパー、様々なワーク(もみじ会発表を含む)の総合評価(100点) 単位認定の最低基準：授業内容の7割を理解していること。
テキスト	特に使用しません。		
参考書	必要に応じて随時提示します。		
学生への要望	この授業では、各自が「学びの核」(卒業研究に繋がる専門分野)を模索し、2年次の地域創成プロジェクト演習の下地となる知識を広く学びます。主体性や積極性、協調性を発揮することを意識して下さい。		
位置付け・水準	CD1201		
ディプロマポリシーとの関係	知識理解、創造的思考力、課題解決力		
オフィスタイム	全体のコーディネーターは副主任（2025年度 知野）が担当します。オフィスタイムは火曜日Ⅱ・Ⅳ限(N0.1地域創成研究室)		
アクティブラーニング実施内容	第1～3回 グループワークによる展示計画・製作・発表		
実務家教員の経歴			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス、もみじ会準備(1) 2025/9/17	シラバス（授業概要・目標・学生への要望等）を説明する。今後のスケジュール、もみじ会の趣旨について説明する。	もみじ会の展示に向けて作業を行う。各自調べ学習など。	30
2	もみじ会準備(2) 2025/9/24	もみじ会に向けて地域創成ゼミナールⅠ「地域を知る」の活動をまとめて、展示物を作成する。	同上	30
3	もみじ会準備(3) 2025/10/1	同上。もみじ会(10/11.12)	同上	30
4	もみじ会の振り返り 2025/10/15	もみじ会の各グループの発表内容の振り返りを行う。次回研修の学修資料を配布する。	もみじ会を振り返り、興味を持った点について各自で調べる。	30
5	プロジェクト演習のガイダンス (1) 2025/10/22	地域創成プロジェクト演習の所属ゼミを決めるために、各プロジェクトのガイダンスを行う。	各研究室のシラバス、配布資料を読む。	30
6	プロジェクト演習のガイダンス	同上	各プロジェクトの過去の活動を確認する。	30
7	卒業研究の全体的ガイダンス 2025/11/5	卒業研究について全体的なガイダンスを行う。卒業研究の所属希望アンケートの実施方法の説明、各自が指定日までに回答する。	卒業研究として何に取り組むか考え関連書籍などを読む	30
8	学外施設見学研修(1): 2025/11/12	コミュタン福島を見学する。放射線や環境問題を理解し、環境の回復と復興について考える。	見学先施設や団体について調べ、疑問点を各自で調べる。	30
9	学外施設見学研修(2): 2025/11/12	同上	同上	30
10	学外施設見学研修(3):振り返り 2025/11/12	学外施設見学の学修内容についてリアクションペーパーにまとめる。	疑問点や関心を持った点を各自が詳細に調べる	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
11	地方自治体の取組み-郡山市の場合- 外部講師2025/11/19	郡山市シティ・プロモーションについて(講演) 翌週11/26 川限は補講に	講演を聞き興味を持った事項を各自が詳細に調べる。	30
12	学びの核を考える：卒業研究の相談(1) 2025/12/3	(1)研究室ごとに分かれて卒業研究の説明・相談をする	卒業研究についての疑問点や興味をもった事柄について調べる	30
13	学びの核を考える：卒業研究の相談(2) 2025/12/10	(2)研究室ごとに分かれて卒業研究の説明・相談をする。	同上	30
14	地域創成プロジェクトに向けてプレ演習(1) 2025/12/17	地域創成プロジェクト演習の所属ゼミに分かれる。各プロジェクトにおいてプレ演習を実施する。	地域創成プロジェクト演習について、疑問点や興味をもったワードについて調べる	30
15	地域創成プロジェクトに向けてプレ演習(2) 2026/1/14	地域創成プロジェクト演習の所属ゼミに分かれる。各プロジェクトにおいてプレ演習を実施する。	所属プロジェクトに関連する情報を調べる。	30

授業名	地域創成プロジェクト演習		配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 2年 4単位 必修
担当教員名	◎小松 太志 福島 寅太郎 桑野 聡 會田 容弘 知野 愛 山口 猛 仲田 佐和子 黒沼 令 佐藤 愛未 佐々木 達矢 杉本 ゆか			
開講期				
授業の概要	1年次の「地域創成ゼミナール」を踏まえて具体的な地域活動に関わることで、地域活動の難しさと共に楽しさを学ぶ。今年度は10のグループに分かれて実施する。①アートによる地域活動プロジェクト、②歴史遺産を活用した地域創成プロジェクト、③取材活動プロジェクト、④数理モデルとシミュレーションプロジェクト、⑤地域と暮らしプロジェクト、⑥郡山の魅力発信プロジェクト、⑦郡山女子大学周辺の宗教学+、⑧まちの歴史再発掘プロジェクト、⑨データセット作成プロジェクト、⑩つなぐデザインプロジェクト。 もみじ会において各プロジェクトの活動内容を伝えるパネル展示を行い、12月末に一般公開の活動報告会を実施することで1年間の授業内容を振り返り、整理します。			
授業の到達目標	目標は、①教員の支援を得ながら、地域に役立つプロジェクトを積極的に実施できるようになる、②地域との一度のみの関係ではなく、継続的な関係を構築できるようになる、です。 単位認定の最低基準は、具体的な地域活動に直接参加し、もみじ会・学内の中間報告と12月に予定されている活動報告会のいずれかには参加し、授業内容の7割を理解していること。			
履修条件	一年時の「地域創成ゼミナール」の単位を取得した地域創成学科の学生	成績の 評価方法・基準	グループワーク（50点） 中間発表(もみじ会)・最終報告（50点）	
テキスト	グループごとに指示する。			
参考書	グループごとに指示する。			
学生への要望	協調性を持ちつつ、積極的に行動すること。			
位置付け・水準	CD1201			
ディプロマポリシーとの関係	ディプロマポリシーとの関係： 創造的思考力・課題解決力・主体的行動力			
オフィスタイム	各担当教員に要確認			
アクティブラーニング実施内容	基本的に10のプロジェクトの全てがアクティブラーニングを基本として展開される。			
実務家教員の経歴	各プロジェクトを担当する教員に依る。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	学年全体で、この授業の位置づけと評価等について説明した後、プロジェクトに分かれて活動の準備に入る。	自分のグループのプロジェクトの進め方を理解する。	90
2	各プロジェクトの活動1	グループごとの活動1	活動の振り返りと次の準備	90
3	各プロジェクトの活動2	グループごとの活動2	活動の振り返りと次の準備	90
4	各プロジェクトの活動3	グループごとの活動3	活動の振り返りと次の準備	90
5	各プロジェクトの活動4	グループごとの活動4	活動の振り返りと次の準備	90
6	各プロジェクトの活動5	グループごとの活動5	活動の振り返りと次の準備	90
7	各プロジェクトの活動6	グループごとの活動6	活動の振り返りと次の準備	90
8	各プロジェクトの活動7	グループごとの活動7	活動の振り返りと次の準備	90
9	各プロジェクトの活動8	グループごとの活動8	活動の振り返りと次の準備	90
10	各プロジェクトの活動9	グループごとの活動9	活動の振り返りと次の準備	90
11	各プロジェクトの活動10	グループごとの活動10	活動の振り返りと次の準備	90
12	各プロジェクトの活動11	グループごとの活動11	活動の振り返りと次の準備	90
13	各プロジェクトの活動12	グループごとの活動12	活動の振り返りと次の準備	90
14	中間発表①	グループごとにパワーポイントを用いた発表（前半）	パワーポイント読み上げ原稿の作成	90
15	中間発表②	グループごとにパワーポイントを用いた発表（後半）	パワーポイント読み上げ原稿の作成	90
16	もみじ会①	グループごとに展示を準備する	パネル等の作成と準備	90
17	もみじ会②	グループごとに展示を完成させる	パネル等の作成と準備	90
18	もみじ会③	11グループによるもみじ会の反省	もみじ会を振り返りまとめる	90
19	各プロジェクトの活動13	グループごとの活動13	活動の振り返りと次の準備	90
20	各プロジェクトの活動14	グループごとの活動14	活動の振り返りと次の準備	90
21	各プロジェクトの活動15	グループごとの活動15	活動の振り返りと次の準備	90
22	各プロジェクトの活動16	グループごとの活動16	活動の振り返りと次の準備	90
23	各プロジェクトの活動17	グループごとの活動17	活動の振り返りと次の準備	90
24	各プロジェクトの活動18	グループごとの活動18	活動の振り返りと次の準備	90
25	各プロジェクトの活動19	グループごとの活動19	活動の振り返りと次の準備	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
26	各プロジェクトの活動20	グループごとの活動20	活動の振り返りと次の準備	90
27	各プロジェクトの活動21	グループごとの活動21	活動の振り返りと次の準備	90
28	各プロジェクトの活動22	グループごとの活動22	活動の振り返りと次の準備	90
29	活動報告会①	1年間の活動の報告（前半）	1年間の活動を振り返りまとめる	90
30	活動報告会②	1年間の活動の報告（後半）	1年間の活動を振り返りまとめる	90

授業名	生涯学習概論	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎瀬谷 真理子			
開講期	I 期			
授業の概要	「生涯学習」の現代的意義と「社会教育」の概念と意義について、基本的な内容の理解をしていきます。その理解を踏まえて、多角的な視点から「生涯学習」を分析し、社会教育施設としての図書館、博物館（美術館含む）、公民館等の役割について考察するとともに学習支援者としての役割について考察していきます。授業全体を通して、主体的で対話的な深い学びの実践を目指します。毎回、授業の内容から課題をとらえ実施する課題レポートは、評価を加えて次回授業冒頭に返却し、フィードバックします。また、「学び」について様々な角度から考えていくため、現代的課題をとらえながら我が国の現状と課題について考え、未来に向けた学びの視点を育んでいきます。さらに最終回の授業において、授業全体をフィードバックします。 なお、福島県教育行政において実務経験である社会教育課勤務を活かした社会教育主事の視点での実践的な指導を行うとともに学校教育現場の実務経験をふまえながら学校教育との関連性を持たせ、社会教育施設の役割や生涯学習の意義を捉える観点を重視します。			
授業の到達目標	1.現代的課題を踏まえ「生涯学習」の意義と必然性を理解する。 2.「社会教育」と「生涯学習」の関連性を理解する。 3.「生涯学習」の観点から社会教育施設の意義を理解する。 4.「知の拠点」としての社会教育施設の役割を理解する。 5.家庭教育について現状と課題を把握し、地域における家庭教育支援のあり方を考える。 6.主体的で対話的な学びを通じて、生涯学習を推進するための学習支援者としての実践力を育む。 単位認定の最低基準は、上記1～6の総合的評価が達成度7割以上であること。			
履修条件	科目を選択履修した者、司書、学芸員補資格取得希望者	成績の 評価方法・基準	自宅学習の課題として出される課題レポート（40％）、最終回のまとめの授業で実施される理解度確認テスト（60％）の内容で総合評価し、60%以上が合格となる。	
テキスト	二訂「生涯学習概論」執筆・編集代表 馬場祐次朗 授業ごとに配布されるプリント、内容をまとめたノートと一緒にファイリングすること。			
参考書	・山本順一、前平泰志、渡邊洋子監修『生涯学習概論－知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』ミネルヴァ書房、2014年 ・浅井経子編著『生涯学習概論－生涯学習社会への道－増補改訂版』理想社			
学生への要望	「生涯学習」とは、何か。「学ぶ」とは何か。未来に向けて何が課題となっているのか。社会教育の果たす役割と社会教育施設（図書館、博物館、美術館、公民館等）の意義を踏まえ、確かな知識を獲得しながら、自己の思考を展開していく主体的な姿勢を持って授業に臨んでください。			
位置付け・水準	CD1104			
ディプロマポリシーとの関係	知識・理解、創造的思考力、主体的行動力			
オフィスタイム	家政学館 4 F被服学実習室 月曜日 1 限			
アクティブラーニング実施内容	課題について、自分自身の考えをレポートにまとめた内容を発表する。			
実務家教員の経歴	福島県立高等学校校長、教育庁社会教育課課長、社会教育主事資格取得。専門教科「家庭」、一級衣料管理士資格取得。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	前半は、授業を受けるにあたっての一般的な注意事項や授業計画・評価方法等について説明する。生涯学習について導入を行う。 「学び」について、次の授業までにレポートにまとめる。	ノート整理 課題レポート	90
2	「生涯学習」の現代的意義	前時の教育モデルに関する受講生の認識を基盤にしなが ら、「生涯学習」とは何か、「学ぶ」とは？について理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
3	「生涯学習振興施策」の動向	「生涯学習論」について、リカレント教育について、学びについて理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
4	「社会教育」の概念と意義	「社会教育」の概念と意義について理解を深め「社会教育」の特質について注目し、日本における歴史的展開とその意義を理解する。	ノート整理 課題レポート	90
5	「社会教育」の特質	「社会教育」の特質について理解し、デンマークにおけるワーク・ライフ・バランスについて着目し子育て支援策についても理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
6	「社会教育」の対象	「社会教育」の対象として学習者の特性を理解し、「社会教育」の内容、方法、形態について学ぶ。	ノート整理 課題レポート	90
7	日本における社会教育の歴史的展開	日本における社会教育の歴史的展開とその意義について理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
8	社会教育の基本法令・施策	社会教育の基本法令から学校教育との連携やその補完機能としての期待を担った社会教育の役割を理解する。	ノート整理 課題レポート	90
9	社会教育に関する団体と指導者	社会教育に関する団体について理解を深め、行政との関係と団体への学びの支援、社会教育に関する指導者について学ぶ。	ノート整理 課題レポート	90

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	社会教育施設の意義と役割	社会教育施設の法的根拠や「知の拠点」として果たす役割について、各社会教育施設の特徴を把握しながら理解を深める。	ノート整理 課題レポート	90
11	社会教育施設における事業と生涯学習	地域における「知の拠点」としての役割を果たすとともに、人々の「生涯学習」を支援するための事業について、図書館、公民館における事業について理解する。	ノート整理 課題レポート	90
12	生涯学習社会と家庭教育	現代社会における子育ての現状と課題を把握しながら、地域における家庭教育支援に向けた生涯学習施策について考える。スウェーデンにおけるワーク・ライフ・バランスについて着目し子育て支援策についても理解を深め、我が国との比較により、今後の支援策の在り方を考える。	ノート整理 課題レポート	90
13	生涯学習社会と学校教育	学校教育との連携において社会教育の果たす役割を認識しながら、「学校」「家庭」「地域」の一体となった教育を推進していくために必要な施策について考える。	ノート整理 課題レポート	90
14	現代的課題と生涯学習の役割	知識を創る学習を奨励する意味での「知識基盤社会」の持つ可能性と課題とを明らかにする。	ノート整理 課題レポート	90
15	授業のまとめ	「生涯学習概論」についての総括として、授業のまとめを行う。	確認テスト レポート	90

授業名	家族社会学	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択	
担当教員名	◎知野 愛			
開講期	I			
授業の概要	人間生活の基盤となる家族に焦点をあて、家族の意義と機能、家族の変化等を中心に考える。少子高齢社会の現状と課題を様々な視点で考える。最終回に、筆記試験採点後の答案を返却しフィードバックを行います。			
授業の到達目標	達成目標は、筆記試験で7割以上の得点となること。 単位認定の最低基準:内容の7割を理解していること。			
履修条件	地域創成学科 1 年生	成績の 評価方法・基準	筆記試験(50点)、課題提出物(50点)	
テキスト	特に指定しない			
参考書	園井ゆり監修『第4版 家族社会学 基礎と応用』九州大学出版会 2022年			
学生への要望	授業に関連するテーマの新聞記事や書籍を積極的に読むこと。			
位置付け・水準	位置づけ・水準:CD1105			
ディプロマポリシーとの関係	ディプロマ・ポリシーとの関係:1)知識理解、2)課題解決力			
オフィスタイム	火曜Ⅱ限、Ⅲ限 地域創成学科No.1研究室(芸術館1階)			
アクティブラーニング実施内容				
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の進め方と概要	シラバスに基づき授業概要・目標、成績評価法、今後の授業予定等を説明した後に、家族の定義について学ぶ。	復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
2	家族とは何か	人間と家族、家族と世帯、家族構成、家族の変容について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
3	家族の変動	家族変動論、産業化と家族変動の諸側面、家族変動の行方について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
4	配偶者選択と結婚	配偶者の選択、結婚選択への過程、結婚について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
5	夫婦関係	夫婦関係に関する社会学的視点、家制度と夫婦関係、近代家族と夫婦関係、夫婦の勢力関係と情緒関係等について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
6	親子関係	社会学から見た親子関係、家族周期と親子関係、ひとり親世帯・ステップファミリー・事実婚における親子関係について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
7	高齢者と家族	現代社会における高齢者、高齢者の家族構成、高齢者と家族の関係性、老親扶養と家族関係について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
8	結婚の多様化と家族	近代的な結婚、日本における近代的な結婚規範、企業社会と結婚等について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
9	生殖補助医療と家族	生殖補助医療とは、諸問題、日本での状況、生殖補助医療をめぐる裁判事例他について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
10	少子化と子育て支援	日本の少子化の状況、第二の少子化期の社会的動向、少子化対策、少子化の要因と背景等を考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
11	児童虐待と里親制度	児童虐待とその背景、里親制度の展開と意義、児童福祉の将来展望について学ぶ。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
12	中高年世代と家族	中高年世代と家族変動、ロスジェネ世代が抱える問題、中高年者の社会的孤立、支援の仕組み等について学ぶ。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
13	高齢者介護の諸問題	高齢者介護の動向と家族の抱える諸問題、家族政策と高齢者介護等について考察する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
14	授業全体の振り返り・筆記試験	授業全体の内容を振り返り、理解度を確認するために筆記試験を実施する。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60
15	筆記試験の結果講評・フィードバック	筆記試験の結果を返却し講評、フィードバックする。	予習:テーマに関連する書籍を読むなど。復習:課題レポートの指示に従い締切日までに提出する。	60

授業名	生活芸術学入門	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 2単位 選択
担当教員名	◎小松 太志 黒沼 令 米本 順子		
開講期			
授業の概要	生活芸術学入門では芸術や美についてのさまざまな考え方に触れながら、生活と芸術（美術を中心に）の関わりを考えます。この講義では地域創成学科アート＆デザイン系教員によるオムニバス形式をとり、各教員の専門を手掛かりにしながら「芸術と美」についての理解を深める一助とします。また担当教員の紹介する芸術作品などにも幅広く触れ、それらを題材として意見を出し合いながら生活と芸術の関わりを考える授業とします。提出したレポートなどを返却する際はコメントなどによるフィードバックを行います。CD1106		
授業の到達目標	オムニバス形式として各教員の高度な専門性を手掛かりにしながら「芸術と美」についての理解を深めることを目標とします。単位認定の最低基準は授業内容の7割を理解していることとし、ディプロマ・ポリシーとの関係は知識理解・創造的思考力となります。		
履修条件	地域創成学科 1 年生	成績の 評価方法・基準	この授業の理解度が7～8割に達したことを前提として次の項目を評価の観点とする。①提出作品や小テストによる課題目標達成度が70％以上であること（配点80点）②授業に対する関心・意欲・態度（配点20点）
テキスト	特になし（必要な資料等は各担当教員が準備します）		
参考書	新版造形の基礎技法（建帛社） 美学辞典（竹内敏雄編集/弘文堂）		
学生への要望	生活芸術という概念をよく考え、主体的、積極的な姿勢で授業に望むこと。		
位置付け・水準			
ディプロマポリシーとの関係			
オフィスタイム			
アクティブラーニング実施内容			
実務家教員の経歴			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	生活芸術学入門のガイダンス及び絵画 絵画（1）担当・浅野章	この授業の目標と内容、および授業の進め方、授業資料・参考書などについてのガイダンス。また絵画についての考え方を解説する。	【事前学習】授業内容に関連する「絵画」について事前に調べておく。 【事後学習】授業内容を踏まえ、画集などで復習しておく。	30
2	絵画（2）担当・浅野章	今日、日本の文化の中で絵画ほど人々に浸透し、愛され、生活の中で欠くことの出来ない存在になっているものはないだろう。その理由を画像や参考資料を用いながら少しずつ紐解いていく。	【事前学習】授業に関連する「絵画」について事前に調べておく。 【事後学習】授業内容を踏まえ、画集やインターネットなどで復習しておく。	30
3	絵画（3）担当・浅野章	絵画を中心とした参考作品画像を紹介、解説する。それを基に、生活の中での絵画の生かし方、楽しみ方、考え方を探っていく。授業後半に生活芸術学入門・絵画に関する簡単な小テストを実施する。	【事前学習】授業に関連する「絵画」について事前に調べておく。また小テストに備え、絵画について自分の考えをまとめておく。 【事後学習】授業内容を踏まえ、画集などで復習しておく。	30
4	デザイン（1）担当・齊藤弘久	教員の自己紹介と印刷の歴史を解説し、グラフィックデザインにおけるさまざまな表現を紹介します。	【事前学習】グラフィックデザインの意味を各自が調べる。 【事後学習】生活の中グラフィックデザインを探してみる。	30
5	デザイン（2）担当・齊藤弘久	「生活をデザインする」とか「人生をデザインする」とよく言われますが、いろいろ形を変えるデザインを考えて行きます。	【事前学習】幅広いデザインの意味を調べておく。 【事後学習】興味を持った分野をまとめてみる。	30
6	デザイン（3）担当・齊藤弘久	ブランディングとデザインから見えてくる自己表現を考えます。	【事前学習】ブランディングの意味を調べておく。 【事後学習】自分の個性を明確にする表現をまとめる。	30
7	デザイン（4）担当・齊藤弘久	時代と共に変わる印刷と生活の中にある様々な印刷の表現を考えます。	【事前学習】印刷にはどんな種類があるか調べておく。 【事後学習】自分の気に入った印刷媒体をまとめる	30
8	映像メディア（1）担当・小松太志	地域創成学科における映像メディア分野について理解を深めます。卒業生の映像メディア分野の作品、担当教員のデザインと作品制作、デザインを通した地域における活動を紹介します。	【事後学習】映像メディア（テレビ、映画、映像配信サービス、SNS、芸術作品など）の中で、自分の興味・関心の高い作品の魅力について簡単なレポートにまとめること。	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	映像メディア（2）担当・小松太志	広告としての映像メディアについて理解を深めます。「日本の広告費（株式会社 電通）」をもとに、コミュニケーションメディアの変遷を解説して、今後の映像メディア分野の発展について考えます。	【事前学習】教員の提示する広告費に関する資料を読んでおくこと。【事後学習】授業内容を整理してレポートにまとめること。	30
10	映像メディア（3）担当・小松太志	芸術としての映像メディアについて理解を深めます。メディアアートの歴史を概説して、近年のメディアアートにかかわる作家・作品を紹介します。	【事前学習】、教員の提示する映像作品を視聴しておくこと。【事後学習】授業内容を整理してレポートにまとめること。	30
11	映像メディア（4）担当・小松太志	AI技術と美術・デザインの関係について概説します。実際に画像生成を行ないながらデザインや美術への応用可能性について考えます。	【事前学習】、教員の提示する資料を読んでおくこと。【事後学習】授業内容を整理してレポートにまとめること。	30
12	彫刻（1）担当・黒沼令	教員自己紹介を兼ねて自分の作品を紹介しながら、彫刻という表現活動が自己形成にどのように関係してきたか紹介します。その後、日本の彫刻表現について、様々な作品を紹介しながら、どのような時代的变化を経て来たか解説します。	【事後学習】授業の内容について、また、授業を受ける前の彫刻に関する知識や経験等を簡単にレポートにまとめる。	30
13	彫刻（2）担当・黒沼令	西洋の彫刻表現について、様々な作品を紹介しながら、どのような時代的变化を経て来たか解説します。	【事後学習】授業の内容について、簡単にレポートにまとめる。	30
14	彫刻（3）担当・黒沼令	現代の彫刻表現について、これからどのような表現が求められているか、映像資料を紹介しながら解説します。	【事後学習】授業の内容について、簡単にレポートにまとめる。	30
15	彫刻（4）担当・黒沼令	映像資料の紹介と実際の彫刻作品の制作過程について、教員や学生の作品を例に説明します。	【事後学習】授業の内容について、また、4回の授業を受けて彫刻の印象がどのように変化したか等、簡単にレポートにまとめる。	30

授業名	基礎学力トレーニング	配当年次 単位数	短期大学部 地域創成学科 1年 1単位 選択	
担当教員名	◎山口 猛 仲田 佐和子 佐々木 達矢			
開講期				
授業の概要	学生生活に必要な基礎的能力・資質を獲得し、自身の課題を見つけ、解決する技量および授業聴講に必要な技量を養い、自学自習の学習習慣を身に付けます。 中・高で学んできた英国数理社の一般常識的な力を「めばえドリル」で確認し、大学の専門教育に必要な基礎力を準備します。 めばえドリルに加え、国語と数学の担当教員による講義による、公務員試験や一般企業への就職活動を進めるための汎用的な能力の向上を目指します。 学力確認のために「就職部の就職模試」と連動して、実践的に基礎学力を伸ばすことを目的とします。 数学は、Ⅱ期開講授業の「数理・データサイエンス基礎」の理解を円滑に進めるための導入ともなっています。 フィードバックとして、めばえドリルの進捗確認を授業で共有するほか、国語や数学の課題の返却時に解説を行います。			
授業の到達目標	・基礎学力の向上を行い、就職活動を想定したSPIや一般常識の対策方法を理解できる ・自主学習やグループ学習の習慣を身につける ・職業適性検査、就職模試、SPI模擬試験を受験する ・国語の基礎学力を向上させる ・数学の基礎学力を向上させる			
履修条件	地域創成学科1年生	成績の 評価方法・基準	国語課題（30%）、数学課題（30%）、めばえドリルへの取り組み（20%）、就職模試参加（20%）	
テキスト	「めばえドリル2 応用編」「めばえドリル SPI」			
参考書	なし			
学生への要望	現在の自分を冷静に受け止め、短大生活2年間で成長しようとする主体的な気持ちと姿勢を持つことが大前提となることを自覚しましょう。自発的な基礎学力トレーニングと将来の就職試験対策を目的としています。積極性・継続性を高く評価します。何度も挑戦しましょう。			
位置付け・水準	CD1107			
ディプロマポリシーとの関係	知識理解、課題解決力			
オフィスタイム	山口：月曜1限・月曜3限 芸術館2階No.3地域創成学科研究室 仲田：月曜1限・月曜3限 創学館4 階No.4研究室 佐々木：月曜1限・月曜3限 芸術館2階No.3地域創成学科研究室			
アクティブラーニング実施内容	全体を通して、Eラーニングを用いたアクティブラーニング型授業			
実務家教員の経歴				

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	4/9 山口・仲田・佐々木 ガイダンス・めばえドリル説明	授業の目的と進め方を説明します。 また、めばえドリルの利用方法や、学習目標について説明します。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
2	4/16 仲田 国語（1）	国語の基礎力向上に向けた学習対策や解説を行います。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
3	4/23 仲田 国語（2）	2回目授業に続き、国語の基礎力向上に向けた学習対策や解説を行います。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
4	4/30 仲田 国語（3）	3回目授業に続き、国語の基礎力向上に向けた学習対策や解説を行います。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
5	5/7 佐々木 数学（1）	数学の基礎力向上に向けた学習対策や解説を行います。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
6	5/14 山口 めばえドリル2 応用（1）	5/17及び6/14に受験する就職模擬試験対策のため、めばえドリル2 応用の進捗確認を行います	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
7	5/17 第1回就職模擬試験 受験	第1回就職模擬試験を受験します。5/21水の授業は代休とします。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
8	5/28 佐々木 数学（2）	数学の基礎力向上に向けた学習対策や解説を行います。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
9	6/4 山口 めばえドリル3 SPI実施（1）	5/17及び6/14に受験する就職模擬試験対策のため、めばえドリル2 応用の進捗確認を行います	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
10	6/7土 職業適性検査 受験	職業適性検査を受験します。6/11水の授業は代休とします。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
11	6/14土 第2回就職模擬試験 受験	第2回就職模擬試験を受験します。6/18水の授業は代休とします。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
12	6/25 佐々木 数学（2）	数学の基礎力向上に向けた学習対策や解説を行います。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	7/2 山口 めばえドリル3 SPI実施（2）	7/5に受験するSPI模擬試験対策のため、めばえドリル3 SPIを実施します。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
14	7/5土 SPI模擬試験 受験	SPI模擬試験及び解説を受験します。7/9水の授業は代休とします。	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30
15	7/16 山口 学修成果の振り返り	これまで本科目で実施してきた学習内容を振り返ります	めばえドリル2 応用と、めばえドリル3 SPIに取り組む	30